

# TOTO

**施工説明書**

## ウォシュレット® ネオレストハイブリッドシリーズ手洗器付（ワンデーリモデル）

壁排水（後ろ抜き／後ろ抜きリモデル／左右抜きリモデル）  
コーナータイプ手洗器付  
UWA型

◆ “ウォシュレット” はTOTOの登録商標です。

製品の機能が十分発揮できるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。  
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分ご説明ください。

安全上のご注意	1
取り付け前のご注意	3
部品の確認	8

### 1 給排水部の取り付け

給水隠ぺいタイプ・便器品番：CS985BDP 後ろ抜き（排水心高さ120mm）	18
--	----

給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX 後ろ抜きリモデル（排水心高さ120～155mm）	22
---	----

左右抜きリモデル（排水心高さ100～155mm）	28
--------------------------	----

### 2 手洗器の取り付け

### 3 給水管・排水管の取り付け

給水隠ぺいタイプ・便器品番：CS985BDP 後ろ抜き（排水心高さ120mm）	42
--	----

給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX 後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデル	47
--	----

### 4 バックパネルの取り付け

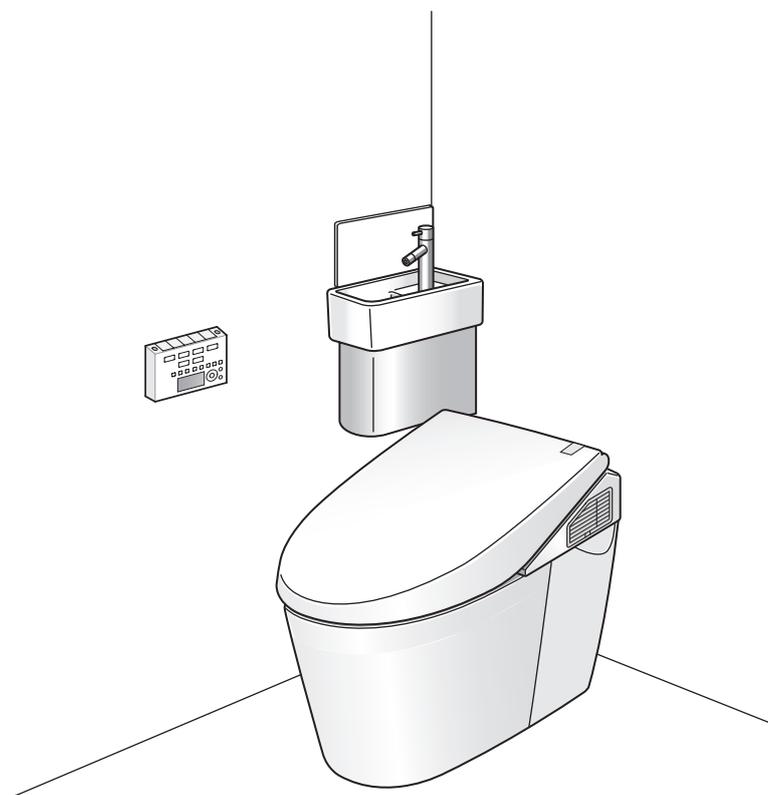
### 5 手洗器排水ホースの水漏れ確認

### 6 大便器の取り付け

### 7 ウォシュレットの取り付け

### 8 確認・仕上げ

### 9 シリコン系シール剤の塗布

**取  
付  
方  
法**

**工事店様へ**

- ・取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。お渡しできない場合は目立つ場所に置いてください。ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様にご説明をお願いいたします。
- ・新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。

# 安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

お取り付け前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。  
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

●表示と意味はつぎのようになっています。

	<b>警告</b> 誤った取り扱いをすると、「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。		<b>注意</b> 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される」内容です。
---	--	---	--

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」の内容です。		必ず実行していただく「強制」の内容です。
---	-------------------	---	----------------------

 <b>警告</b>		<b>分解禁止</b> 修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 火災や感電の原因となります。		<b>ぬれ手禁止</b> ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となります。
		<b>アース接地</b> アース(D種接地)工事がされていることを確認する アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電の原因となります。 アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。		<b>水場使用禁止</b> 浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない 火災や感電の原因となります。 商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがやときに死亡の原因となります。
	 <b>禁止</b>	水道水および飲用可能な井戸水・地下水以外は使用しない 皮膚の炎症などを起こす原因となります。	電源プラグやコードが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいままで使用しない 火災や感電の原因となります。	
		指定する電源(交流100V)以外では使用しない 火災の原因となります。	雷が発生しているときは、電源プラグに触れない 感電の原因となります。	
		ウォシュレットの給水ホースをコンセントに接触させない 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	給水および排水管の真下部にコンセントを設置しない 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	
		電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。	器具取付用のねじ固定部の壁裏には、配線・配線を通さない 火災や感電の原因となります。 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。	
		屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所に取り付けない 取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがやときに死亡の原因となります。	コンセントや配線器具の定格を超える使用かたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。	
		ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因となります。		
	 <b>必ず守る</b>	電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因となります。	壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏を補強する 商品の転倒、落下によりけがやときに死亡の原因となります。	
		石こうボードの場合は指定のボードアンカーを使用する 取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因となります。	
取り付け面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用プラグ(現場手配)を使用する 取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。		コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に記載された位置・方法・注意事項を厳守する 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。		

 <b>警告</b> 	<b>機器の設置は専門業者が行う</b> また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行う 火災や感電の原因となります。水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。	<b>コンセントは水や小水がかからない位置に設置する</b> コンセントに水がかかり、感電・発火の原因となります。
	<b>商品を取り付ける柱・間柱は、腐食などで強度不足でないことを確認する</b> 取付物の転倒・落下によりけがやときに死亡の原因となります。	<b>工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する</b> 商品が落下したり、外れたりしてけがやときに死亡の原因となります。

 禁止	<b>止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない</b> 水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	<b>商品に強い力や衝撃を与えない</b> 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	<b>給水ホースが破損するようなことをしない</b> 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり加熱したりしない 給水ホースが破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生の原因となります。	
 <b>注意</b> 	<b>給水フィルター・給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは接続部やフィルターふたを確実に締める</b> 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	<b>設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する</b> 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	<b>工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する</b> 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	<b>給水・排水接続は、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する</b> 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	<b>カットした面は滑らかに仕上げる</b> 滑らかに仕上げないとお客様の手が触れ、けがをする原因となります。	<b>給水ホースと分岐金具を正しく接続する</b> 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	<b>商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する</b> 商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。	<b>ねじ部の固定については、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する</b> 商品が破損し、けがをする原因となります。
	<b>商品の壁への固定が完了するまで、もたれたりものを載せたりしないよう十分注意する</b> 商品が倒れたり落下してけがの原因となります。	<b>推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する</b> 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。
	<b>手洗器等、器具周囲のすきま処理は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する</b> 水が浸入し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	<b>凍結のおそれがある地域では、凍結防止工事を行う</b> 凍結すると器具の一部が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	<b>給水ホースと分岐金具床継手は必ず指定のクイックファスナーで固定する</b> ホースが外れて水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	

## 施工説明書中のマーク表示について



寒冷地仕様の場合を示します。

# 取り付け前のご注意

左右抜きの場合、排水ジョイント（HP82S）を別途手配してください。

1. 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
2. 室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保してください。  
(壁が変色する原因となります)
3. AHタイプの場合、窓枠・棚・収納キャビネットなどと便ふたの干渉に注意してください。便ふたが当たって開ききらないことがあります。(棚、収納キャビネットは下端FL+1400mm以上を目安としてください)
4. 商品への通電および漏水確認は本説明書に準じて行ってください。
5. 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
6. 定格電源、定格消費電力は下表を参照してください。(AC100V 50/60Hz共通です)

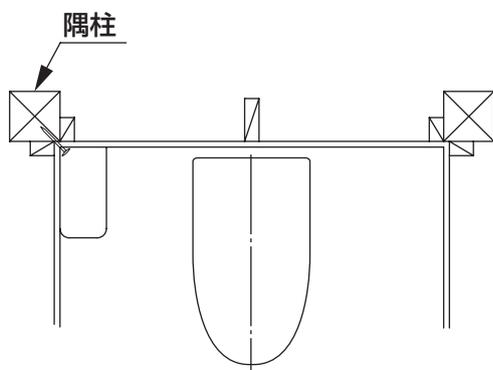
		AH2W・RH2W	AH1・RH1・RH0
定格消費電力	一般地（流動方式兼用）	1378W	1281W

7. ウォシュレット用電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
8. 給水圧力は0.05MPa（流動10L/min）～0.75MPa（静水圧）です。この圧力範囲で使用してください。
9. 施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。

## 補強について

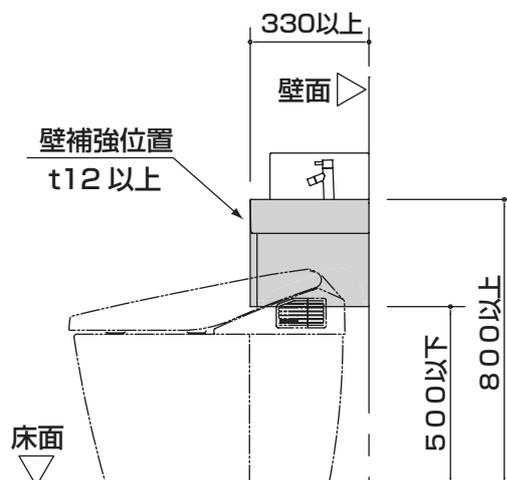
### 隅柱がある場合

補強材は必要ありません。  
※隅柱に固定します。



### 隅柱がない場合

下図のように手洗器側の横壁の網掛け部範囲（壁裏）に必ず補強材（普通合板 t12以上）を入れてください。JAS規格相当の合板を使用してください。合板は受木または間柱などに固定してください。



## 電気配線

### ■大便器用

#### 警告

電源コンセントは水や小水がかからない位置に設置する

電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。



必ず守る

壁給水や露出された排水管の真下部に電源コンセントを設置したり、ウォシュレット用のホースと電源コンセントを接触させない

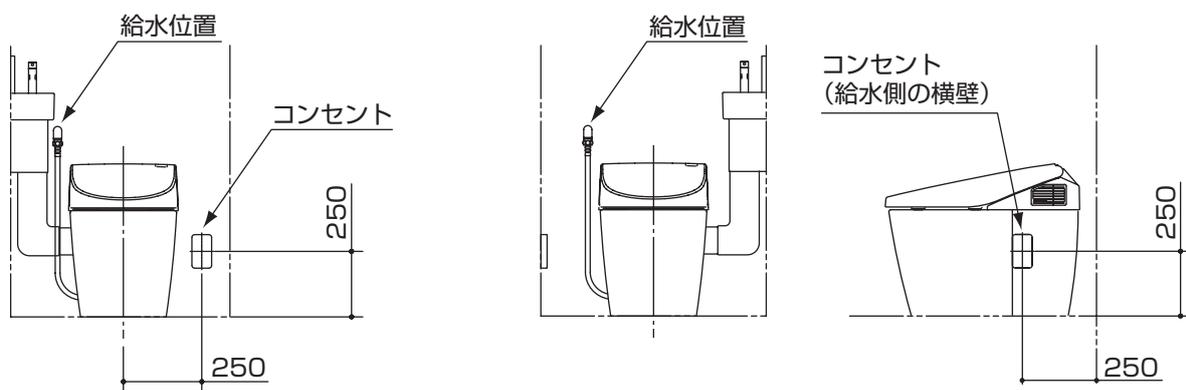
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり感電・発火の危険性があります。

コンセント設置位置は、便器を挟んで給水位置と反対側、もしくは横壁に設置してください。ただし、給水位置と反対側に手洗器がある場合には、給水側の横壁に設置してください。下図に、推奨位置を示しますので、参考してください。

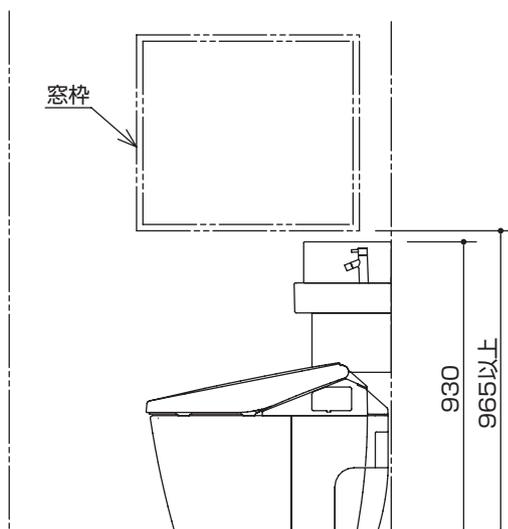
なお、コンセントは接地用端子の付いた接地極付の壁埋込式コンセントを取り付けておいてください。コンセントは付属品として同梱されておりませんので、現場にて手配してください。

#### 推奨位置

<給水位置と反対側に手洗器がある場合>



## 窓枠について

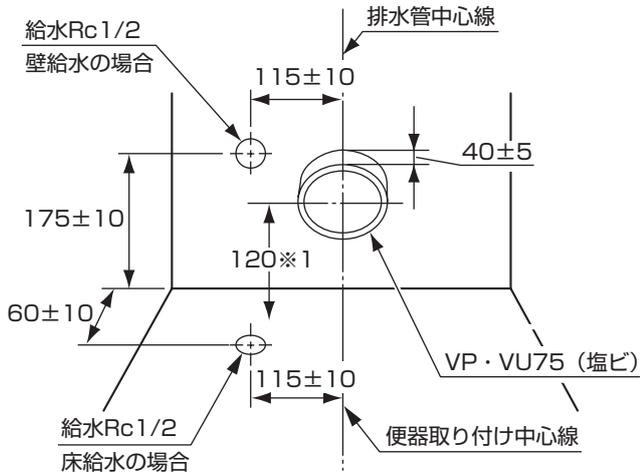


窓がある場合、左図のような制約が付きます。事前に製品と干渉しないように注意してください。

## 給排水位置

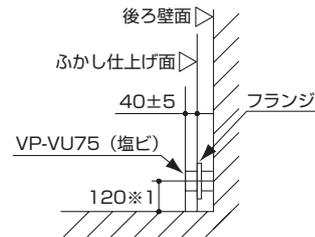
### 給水隠ぺいタイプ・便器品番：CS985BDP 後ろ抜き（排水心高さ120mm）

施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。



- ・排水勾配は必ず1/50以上確保してください。
- ・左図の位置に仕上げ面と同一面にRc1/2の給水管を取り出してください。

<フランジ付配管の場合>  
建築側での対応となります。トイレの後ろ壁を右図のようにふかして、フランジ前面と同一面となるように仕上げてください。また、給水位置や各器具の設置位置はふかした仕上げ面を基準に取り付けてください。



※1 排水心高さの調整範囲は、120～155mmです。

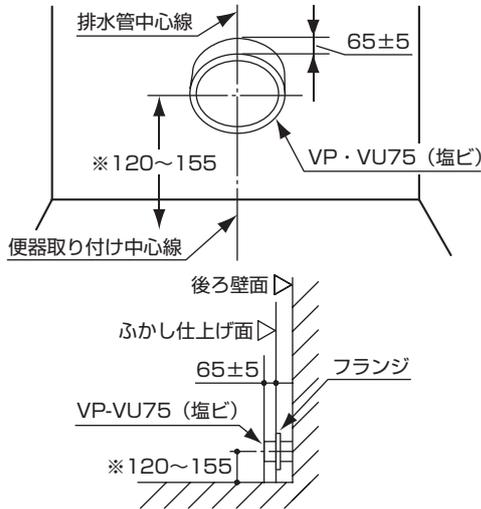
# 給排水位置

給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

## 後ろ抜きリモデル（排水心高さ120～155mm）

施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。

### 排水位置



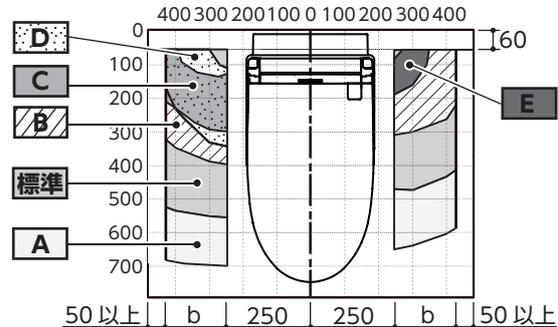
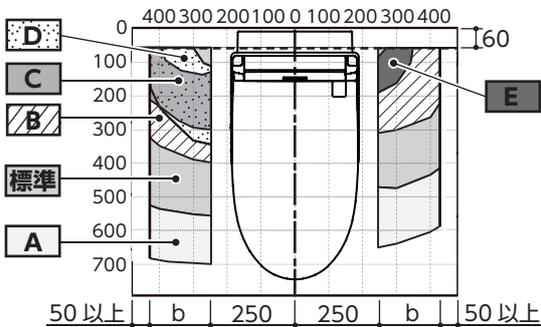
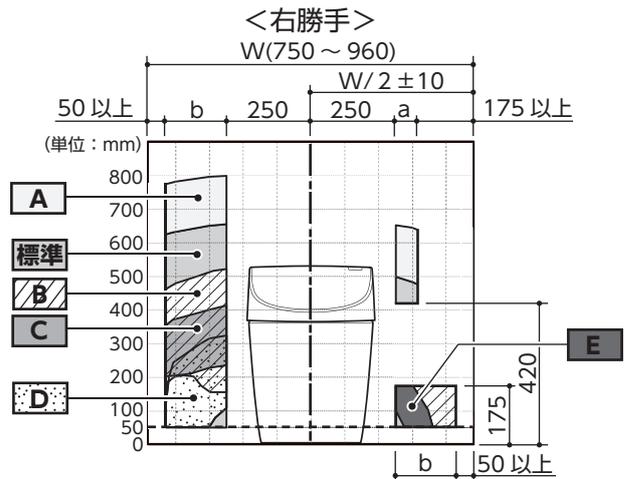
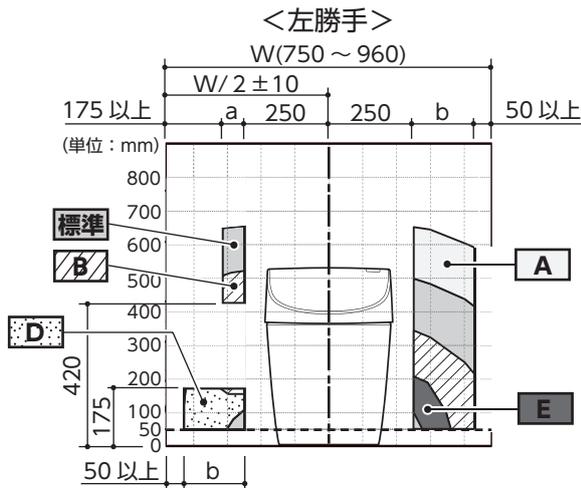
・排水勾配は必ず1/50以上確保してください。

※100～119mmの場合は別売品のフランジユニット（HP406）および壁フランジ（HP551VP、HP551VU）が必要です。

### ＜フランジ付配管の場合＞

建築側での対応となります。トイレの後ろ壁を左図のようにふかして、フランジ前面と同一面となるように仕上げてください。また、給水位置や各器具の設置位置はふかした仕上げ面を基準に取付けてください。

### 給水位置



間口	a寸法	b寸法
750～850	0	W/2-300
851～960	W/2-425	W/2-300

単位 (mm)

オプション給水ホース

標準	A	B	C	D	E
リモデル標準給水ホース 止水栓範囲(700mm)	860mm TN111L86 ¥11,000 (税込¥11,550)	550mm TN111L552 ¥12,800 (税込¥13,440)	450mm TN111L45 ¥10,500 (税込¥11,025)	400mm TN111L40*1 ¥13,000 (税込¥13,650)	370mm TN111L37*2 ¥12,000 (税込¥12,600)

\*1 エルボが同梱されております。 \*2 長さ調整用の継手が同梱されております。

# 給排水位置

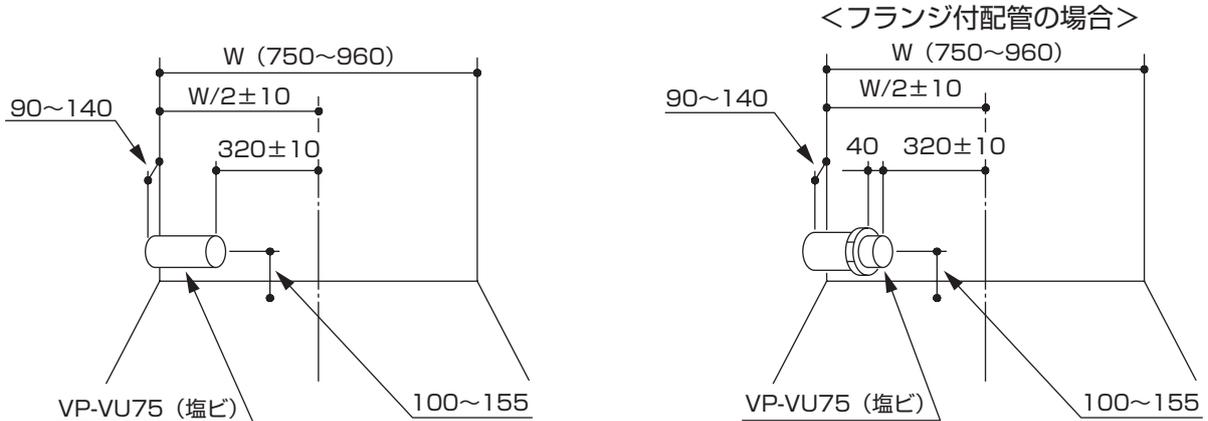
給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

## 左右抜きリモデル（排水心高さ100～155mm）

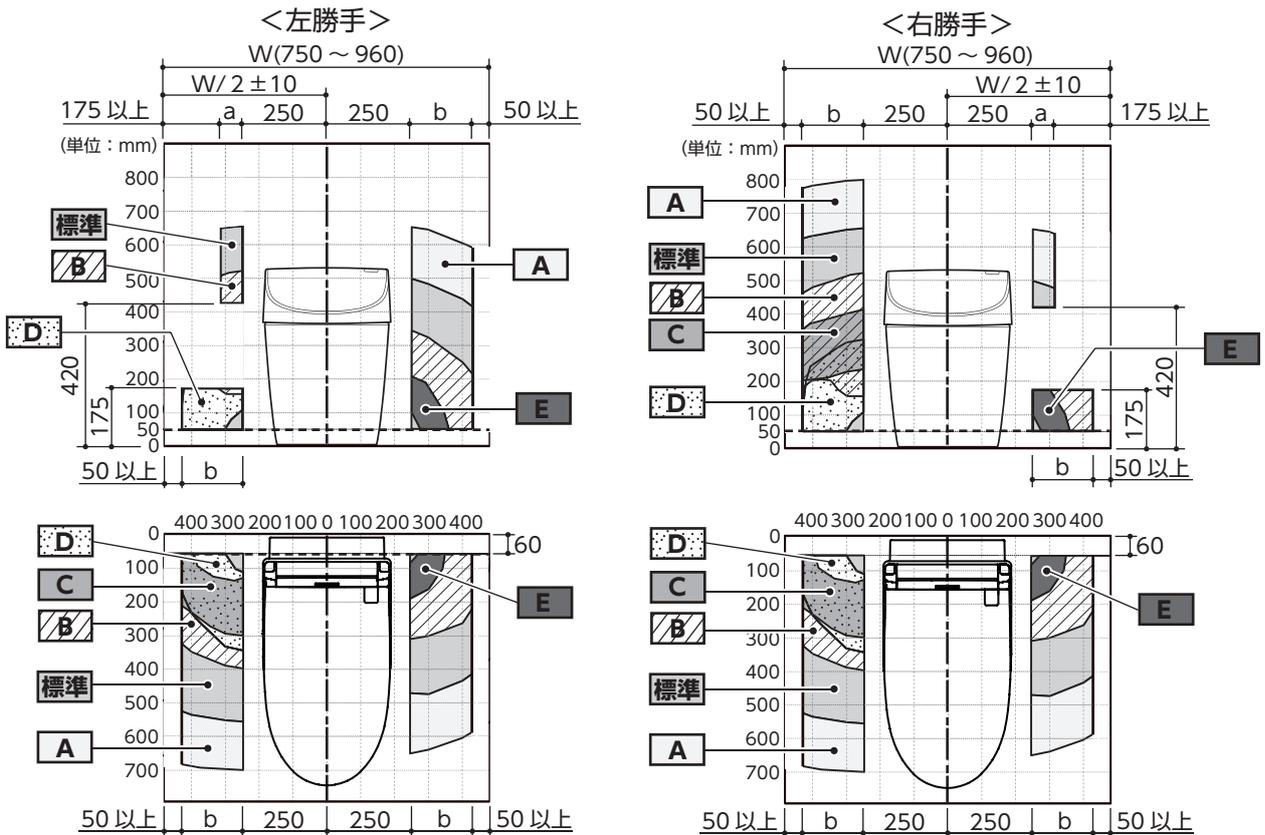
施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。

### 排水位置

下図は左抜きの場合を示します。右抜きの場合は左右反転となります。別売品の排水ジョイント（HP82S）が必要です。



### 給水位置



間口	a寸法	b寸法
750~850	0	W/2-300
851~960	W/2-425	W/2-300

単位 (mm)

オプション給水ホース

標準	A	B	C	D	E
リモデル標準給水ホース 止水栓範囲(700mm)	860mm TN111L86 ¥11,000 (税込¥11,550)	550mm TN111L552 ¥12,800 (税込¥13,440)	450mm TN111L45 ¥10,500 (税込¥11,025)	400mm TN111L40*1 ¥13,000 (税込¥13,650)	370mm TN111L37*2 ¥12,000 (税込¥12,600)

※上図の位置に仕上げ面と同一面にRc1/2の給水管を取り出してください。

\*1 エルボが同梱されております。 \*2 長さ調整用の継手が同梱されております。

## 必要工具

一般水道工事に使う工具以外に、右記の工具を用意してから施工を始めてください。



のこぎり



小型のこぎり



電動ドライバー  
(+)65mmビット  
(+)200mmビット

電動ドリル用キリ  
φ3、φ5

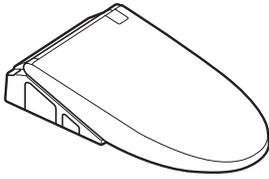


シリコーン系シーラント

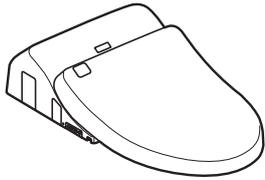
## 部品の確認

### 共通部品

#### 包装(ウォシュレット)

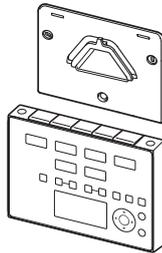


ウォシュレット本体  
(AHタイプ)



ウォシュレット本体  
(RHタイプ)

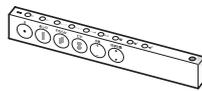
#### <標準リモコン>



リモコンハンガー

リモコン

#### <スティックリモコン>



リモコンハンガー

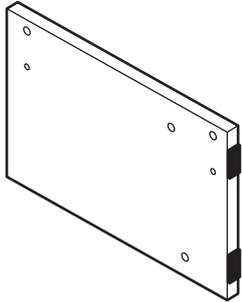


乾電池 (単3形)

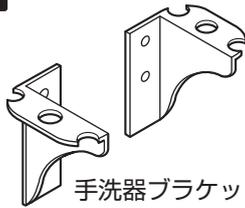
- ・標準リモコン：3個
- ・スティックリモコン：2個

## 包装(手洗器部)

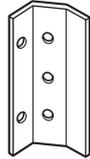
### 手洗器固定セット



手洗器ブラケット取付板



手洗器ブラケット(2個)



コーナー固定金具



平座金  
(3枚)



固定ブッシュ  
(3個)



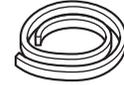
小ねじ  
M5×35(3本)



皿タッピンねじ  
φ4×12(4本)



トラスタッピンねじ  
φ4×70(7本)

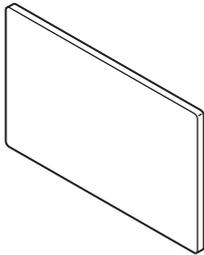


クッション材

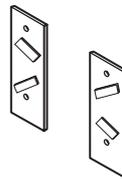


ボードアンカー  
(4本)

### バックパネルセット



バックパネル本体



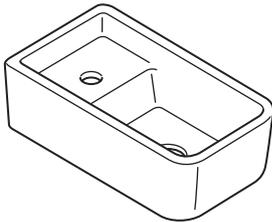
バックパネル固定金具  
(2個)



トラスタッピンねじ  
φ4×40(4本)



ボードアンカー(4本)



手洗器本体



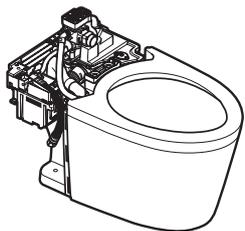
ハンドル式水栓



パッキン

給水ホース  
(手洗器用)

包装(大便器)



便器本体



すっきりパネル (左)



すっきりパネル (右)



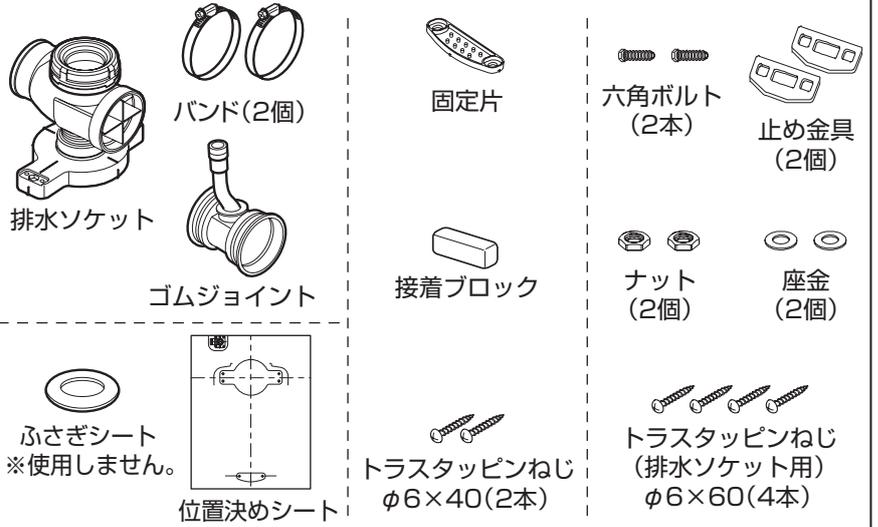
開閉工具  
※すっきりパネル裏側に  
貼り付けてあります。

# 包装(手洗器部)

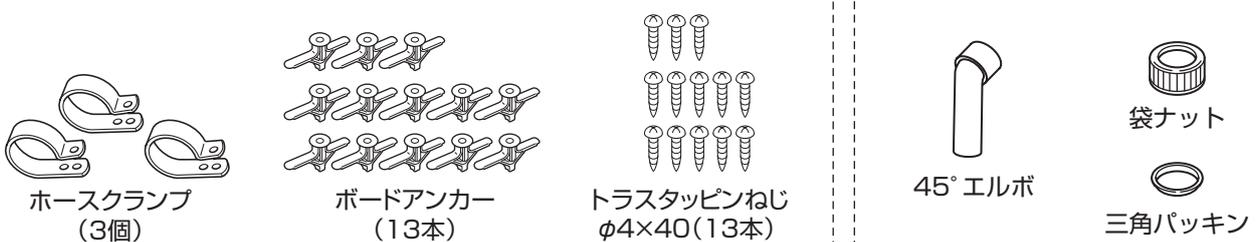
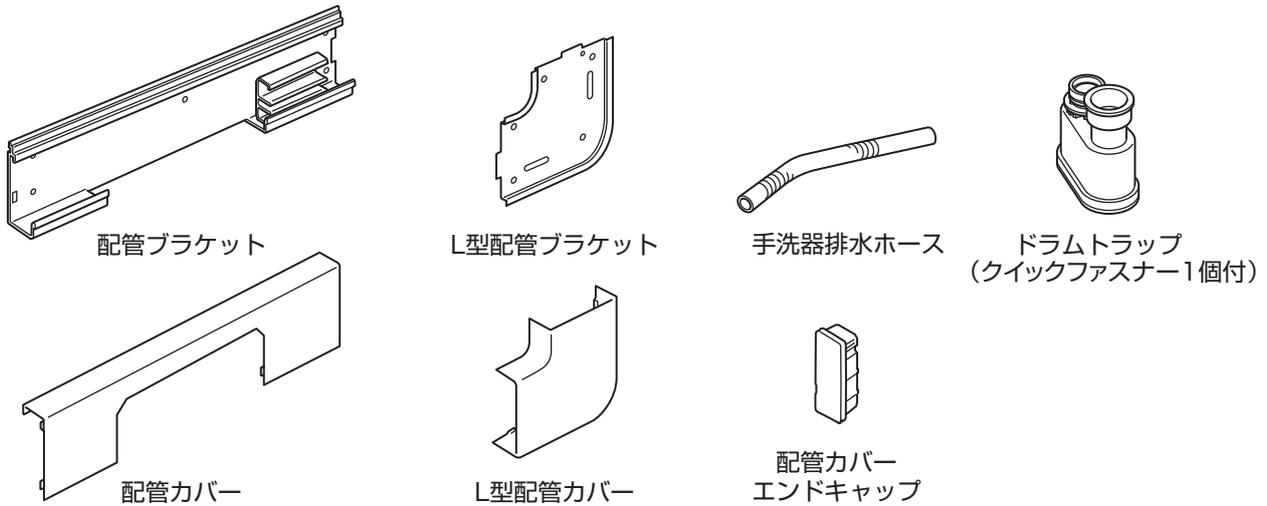
## 給水金具セット



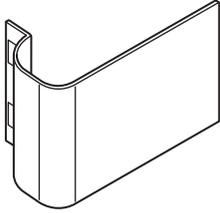
## 排水ソケットセット



## 手洗器排水管セット



### トラップカバーセット

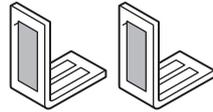


トラップカバー



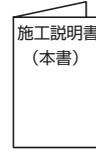
トラスタッピンねじ  
Φ4×40 (4本)

ボードアンカー  
(4本)



トラップカバー用支持アングル  
(面ファスナー付) (2個)

### 説明書セット



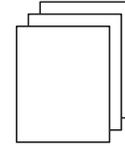
施工説明書  
(本書)



型紙  
(バックパネル用)



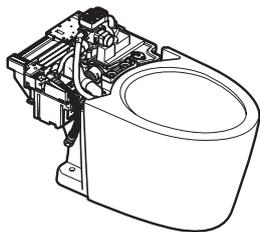
取扱説明書



型紙 (3枚)

- ・配管カバー用 (GH05677) ※使用しません
- ・配管カバー用 (GH05609V)
- ・手洗器取付板用

包装（大便器）



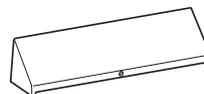
便器本体



すっきりパネル(左)



すっきりパネル(右)



背板カバー



開閉工具

※すっきりパネル裏側に  
貼り付けてあります。

## 包装(手洗器部)

### 給水金具セット



止水栓



ストレート管



分岐金具



なべタッピンねじ  
(床継手用)  
φ4×30 (4本)

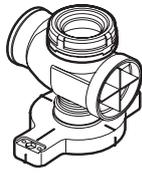


フランジ



クイックファスナー  
(1個)

### 排水ソケットセット



排水ソケット



ホースバンド  
(2個)



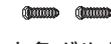
ゴムジョイント



固定片



接着ブロック



六角ボルト  
(2本)



止め金具  
(2個)



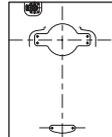
ナット  
(2個)



座金  
(2個)



ふさぎシート  
(給水配管用)



位置決めシート

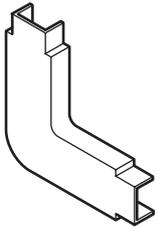


トラスタッピンねじ  
φ6×40(2本)

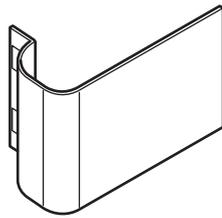


トラスタッピンねじ  
(排水ソケット用)  
φ6×60(4本)

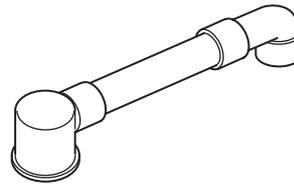
### 手洗器下セット



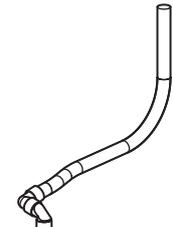
配管カバー



トラップカバー



トラップ排水管



手洗器排水ホース



排水金具



トラップ接続管



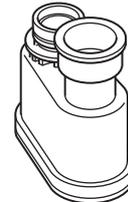
クイックファスナー



スリップワッシャー



三角パッキン



排水トラップ



クイックファスナー

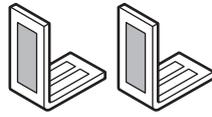
ねじセット①



トラスタッピンねじφ4×40(4本)



ボードアンカー(4本)

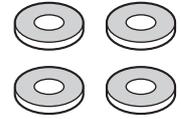


トラップカバー用支持アングル  
(面ファスナー付)(2個)

ねじセット②



なべタッピンねじ  
φ3.5×40(4本)



面ファスナー(4枚)



ボードアンカー(4本)

ねじセット③



配管カバー用支持アングル  
(1個)



ボードアンカー(1本)



トラスタッピンねじ  
φ4×40(1本)

ねじセット④



ホースクランプ(5個)  
(手洗器給水ホース用)



トラスタッピンねじ  
φ4×40(6本)



ホースクランプ(1個)  
(手洗器排水ホース用)



ボードアンカー  
(6本)

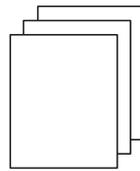
説明書セット



施工説明書  
(本書)

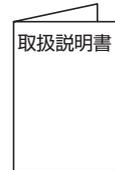


型紙  
(バックパネル用)



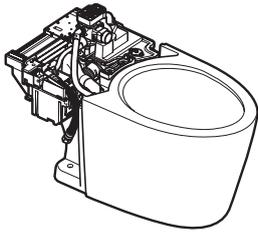
型紙(3枚)

- ・配管カバー用(GH05677)
- ・配管カバー用(GH05609V) ※使用しません
- ・手洗器ブラケット取付板用



取扱説明書

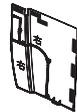
包装(大便器)



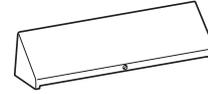
便器本体



すっきりパネル(左)



すっきりパネル(右)



背板カバー



開閉工具

※すっきりパネル裏側に貼り付けてあります。

包装(手洗器部)

給水金具セット



止水栓



ストレート管



分岐金具



なべタッピンねじ  
(床継手用)  
φ4×30 (4本)



フランジ



クイックファスナー  
(1個)

排水ソケットセット



排水ソケット



ホースバンド  
(1個)



排水エルボ



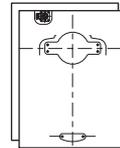
固定片



接着ブロック



ふさぎシート  
(給水配管用)



位置決めシート



トラスタッピンねじ  
φ6×40(2本)



六角ボルト  
(2本)



止め金具  
(2個)



ナット  
(2個)

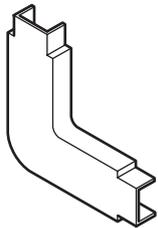


座金  
(2個)

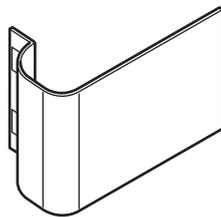


トラスタッピンねじ  
(排水ソケット用)  
φ6×60(4本)

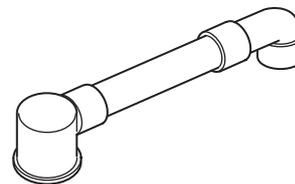
手洗器下セット



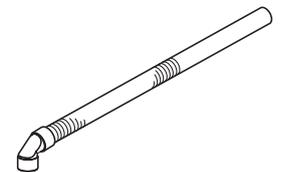
配管カバー



トラップカバー



トラップ排水管



手洗器排水ホース



排水金具



トラップ接続管



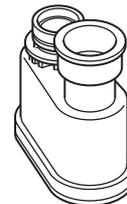
クイックファスナー



スリップワッシャー



三角パッキン



排水トラップ



クイックファスナー

ねじセット①

トラスタッピンねじφ4×40(4本)

ボードアンカー(4本)

トラップカバー用支持アングル  
(面ファスナー付)(2個)

ねじセット②

なべタッピンねじ  
φ3.5×40(4本)

ボードアンカー(4本)

面ファスナー(4枚)

ねじセット③

配管カバー用支持アングル  
(1個)

ボードアンカー(1本)

トラスタッピンねじ  
φ4×40(1本)

ねじセット④

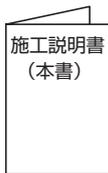
ホースクランプ(5個)  
(手洗器給水ホース用)

ホースクランプ(1個)  
(手洗器排水ホース用)

トラスタッピンねじ  
φ4×40(6本)

ボードアンカー  
(6本)

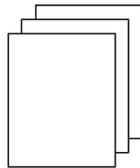
説明書セット



施工説明書  
(本書)

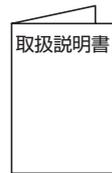


型紙  
(バックパネル用)



型紙(3枚)

- ・配管カバー用(GH05677)
- ・配管カバー用(GH05609V) ※使用しません
- ・手洗器ブラケット取付板用

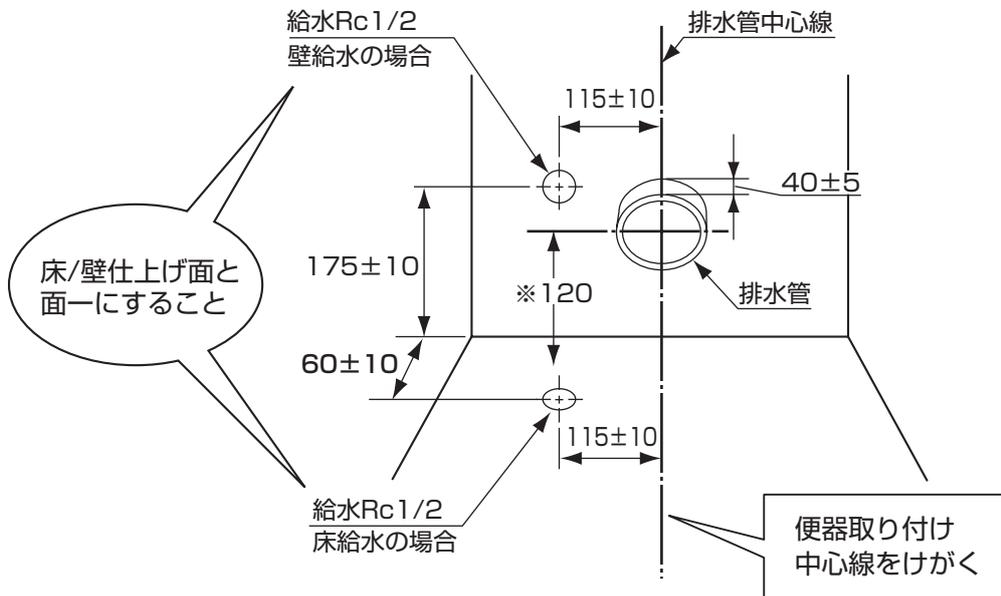


取扱説明書

給水隠ぺいタイプ・便器品番：CS985BDP

後ろ抜き（排水心高さ120mm）

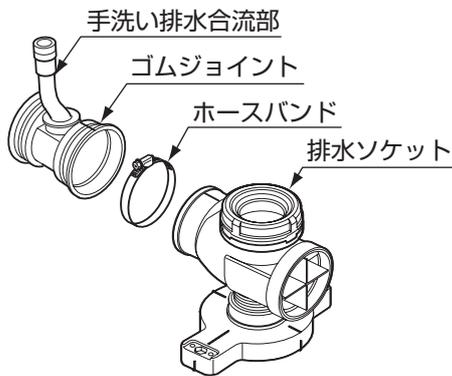
## ① 給排水管の取り出し



※排水心高さの調整範囲は120～155mmです。

## ② 排水ソケットの仮置き

①排水ソケットにゴムジョイントを組み付けます。



## 注意

手洗排水合流部が真上になるように接続する  
排水の勾配が確保できないおそれがあります。

## ⚠ 注意



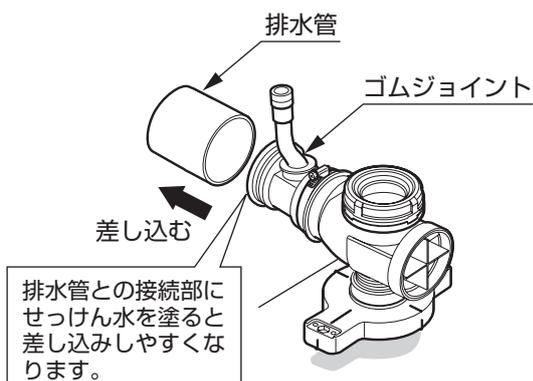
必ず守る

バンドを締め付ける際、手締めにてしっ  
かり締め付ける

電動ドライバーで締め付けると、ゴムジョイント  
が破れ水漏れして家財などをめらす財産損害  
発生の原因となります。

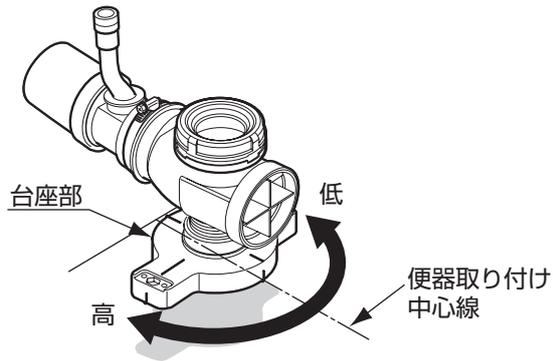
②台座部を縮めた状態で、既設の排水管にゴムジョイントを差し込みます。

※ここで排水管側のホースバンドは付けません。

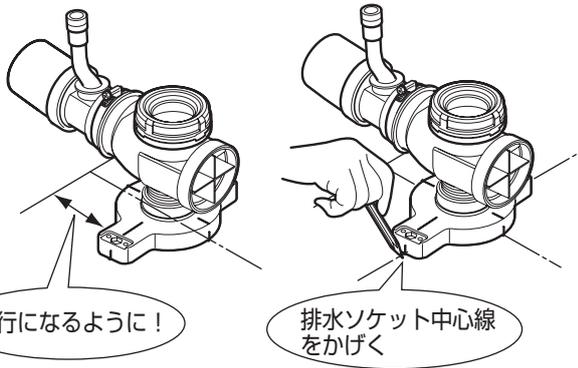


給水隠ぺいタイプ・便器品番：CS985BDP

後ろ抜き（排水心高さ120mm）

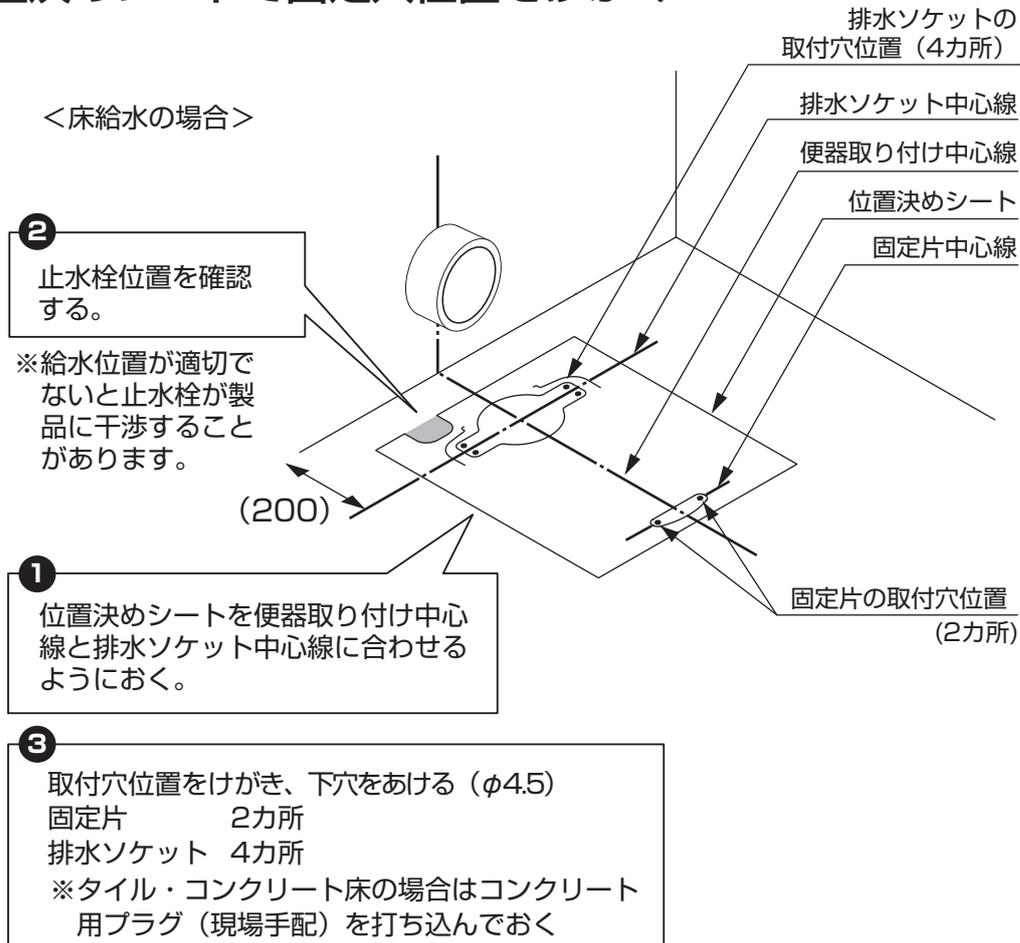


③台座部を床に当たるまで回転させ、排水ソケット中心線と便器取り付け中心線を合わせます。



④台座部が壁に平行になるように調整し、排水ソケット中心線をあげます。  
いったん排水ソケットを取り外します。

### ③ 位置決めシートで固定穴位置をけがく

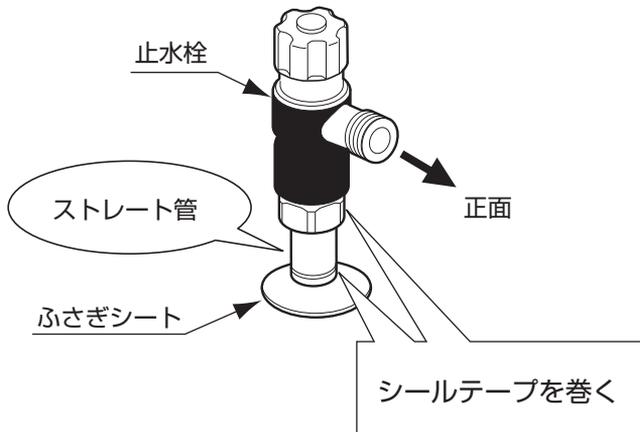


給水隠ぺいタイプ・便器品番：CS985BDP 後ろ抜き（排水心高さ120mm）

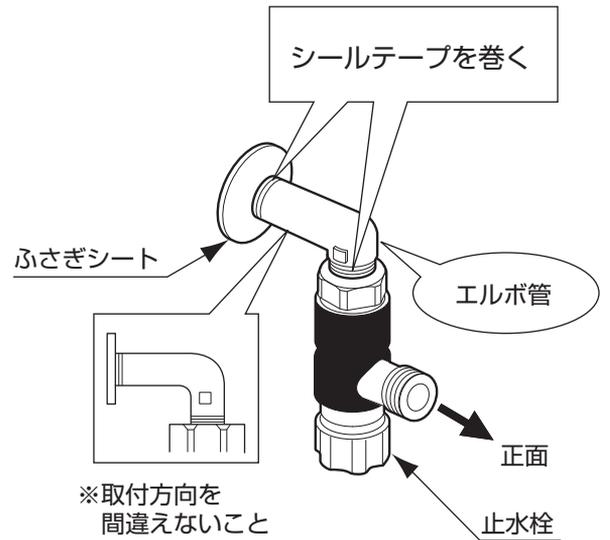
## ④ 止水栓の取り付け

位置決めシートを外し、止水栓を取り付けます。

床給水

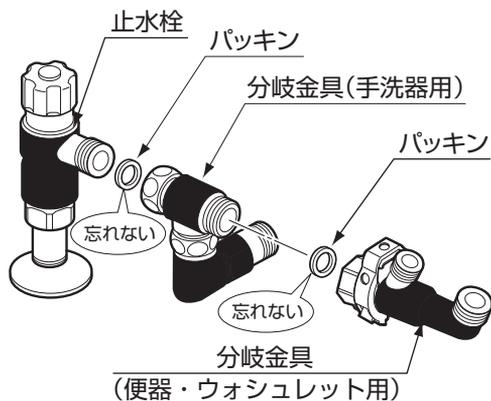


壁給水

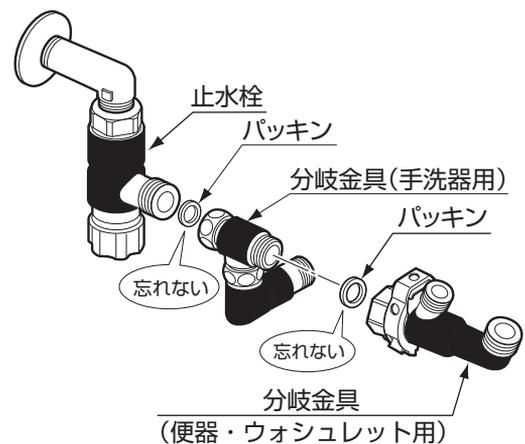


## ⑤ 分岐金具の取り付け

床給水

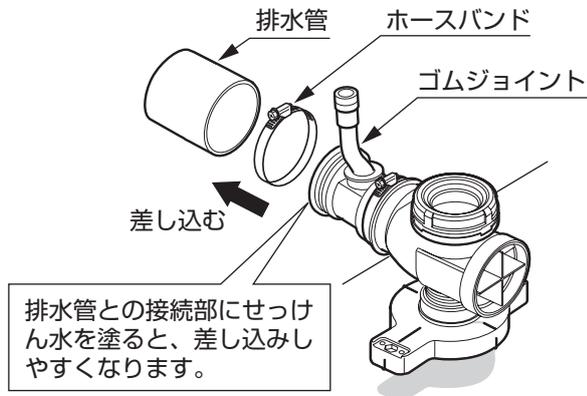


壁給水



給水隠ぺいタイプ・便器品番：CS985BDP 後ろ抜き（排水心高さ120mm）

## ⑥ 排水ソケットの取り付け



- ① 台座部を縮めた状態で、既設排水管にゴムジョイントを差し込み、ホースバンドで固定します。

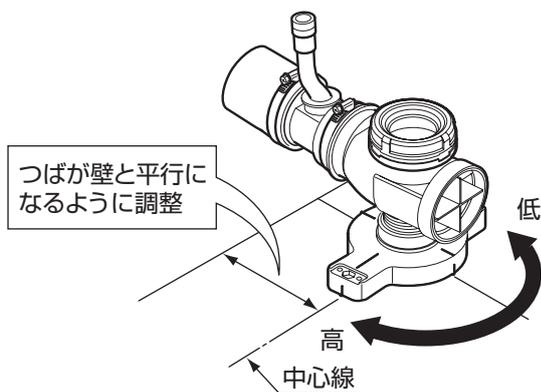
## ⚠ 注意



必ず守る

バンドを締め付ける際、手締めにてしっかり締め付ける

電動ドライバーで締め付けると、ゴムジョイントが破れ水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



- ② 台座部を床に当たるまで回転させ、台座部が壁に平行になるように調整します。

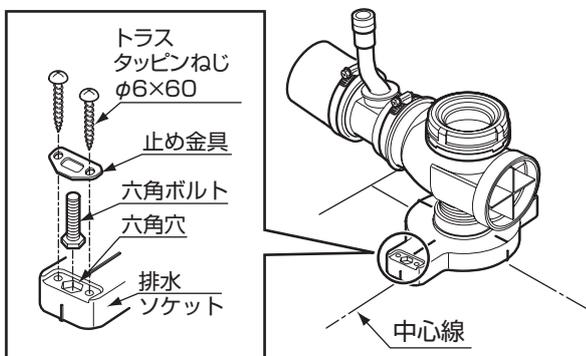
## ⚠ 注意



必ず守る

ゴムジョイントによる既設排水管と、排水ソケットの接続においては、逆勾配とならないように注意する

器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。



- ③ 排水ソケット台座部は所定の位置に六角ボルトを立て、六角ボルトに止め金具を通したうえで、同梱のねじで床に固定します。

## ⚠ 注意



必ず守る

排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にはめ込む

確実にはめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

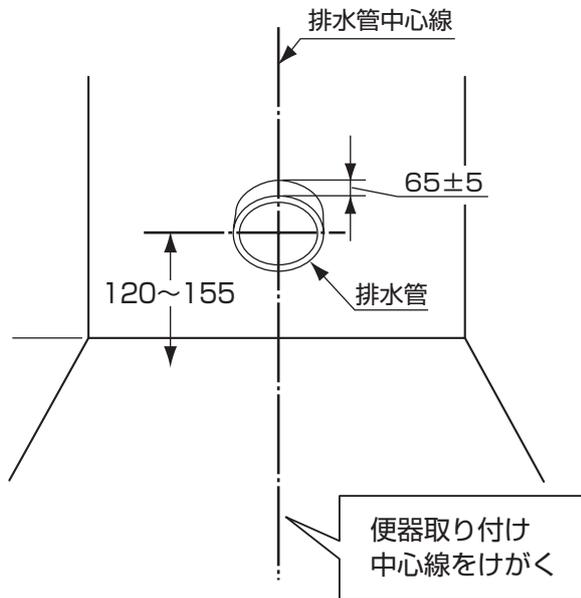
※給排水部が確実に施工されていることを確認してください。

つづきは36ページへ

給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

後ろ抜きリモデル（排水心高さ120～155mm）

## ① 給排水管の取り出し



- ①便器取り付け中心線をけがきます。
- ②既設の排水管が塩ビ排水管であることを確認します。
- ③排水心高さが120mm～155mmであることを確認します。
- ④既設排水管の長さを65mmにカットし、切断面のバリを取り除きます。

## ⚠ 注意

**既設排水管切断面は、斜めにならないようにカットする**

斜めにカットしたまま施工すると、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

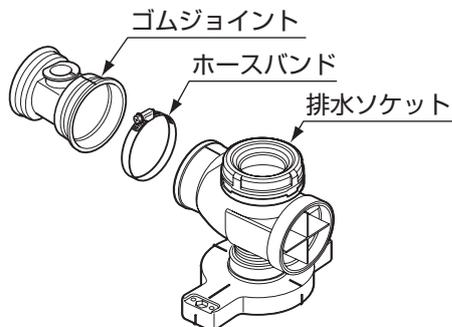


必ず守る

**既設排水管切断面のバリなどは、必ず取り除く**

バリなどが残ったまま施工すると、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

## ② 排水ソケットの仮置き



- ①排水ソケットにゴムジョイントを組み付けます。

## 注意

**手洗排水合流部が真上になるように接続する**  
排水の勾配が確保できないおそれがあります。

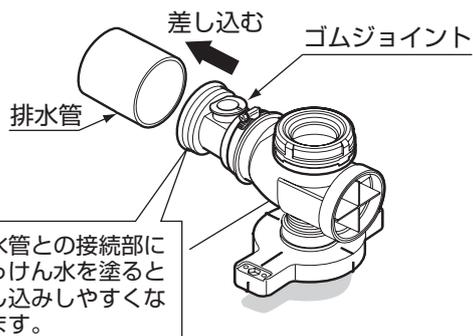
## ⚠ 注意



必ず守る

**バンドを締め付ける際、手締めにてしっかり締め付ける**

電動ドライバーで締め付けると、ゴムジョイントが破れ水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

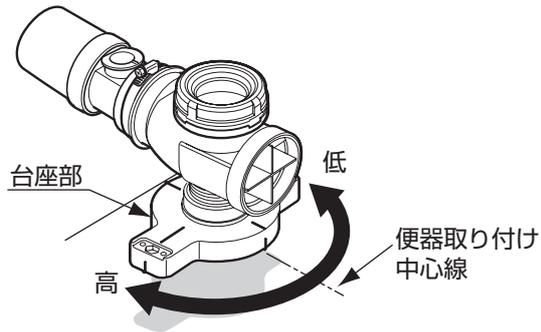


- ②台座部を縮めた状態で、既設の排水管にゴムジョイントを差し込みます。

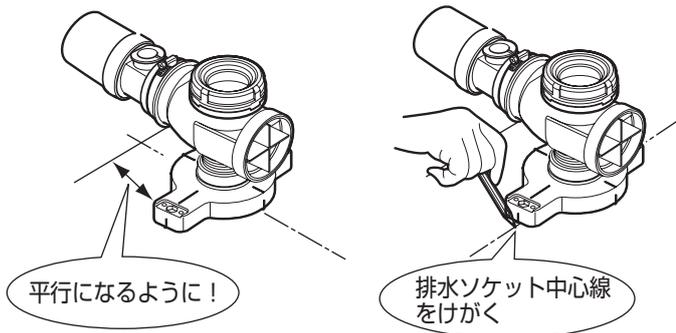
※ここで排水管側のホースバンドは付けません。

給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

後ろ抜きリモデル（排水心高さ120～155mm）

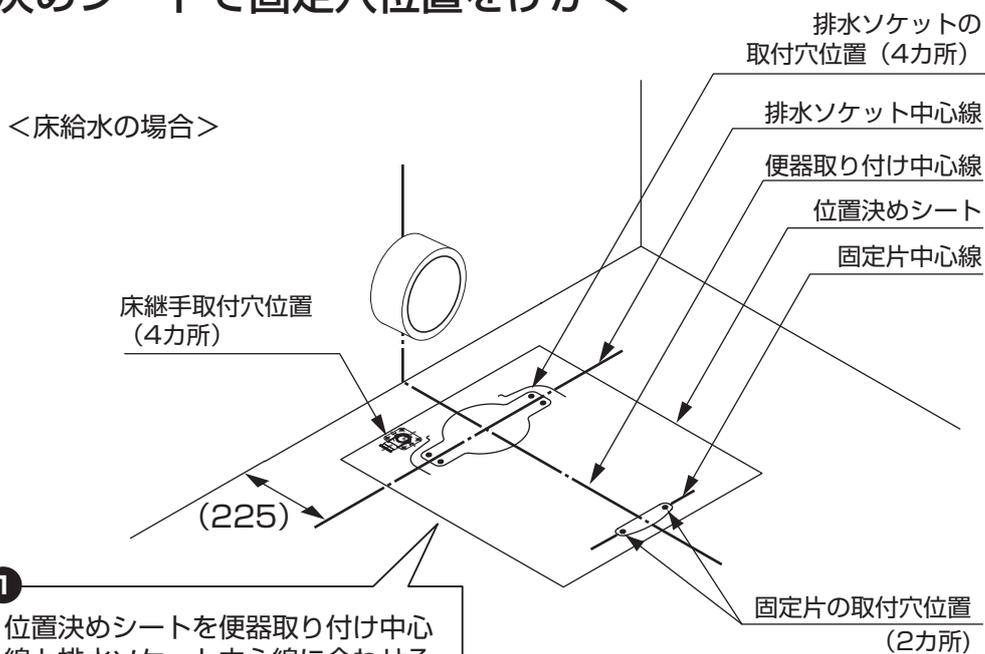


- ③台座部を床に当たるまで回転させ、排水ソケット中心線と便器取り付け中心線を合わせます。



- ④台座部が壁に平行になるように調整し、排水ソケット中心線をけがきます。いったん排水ソケットを取り外します。

### ③ 位置決めシートで固定穴位置をけがく



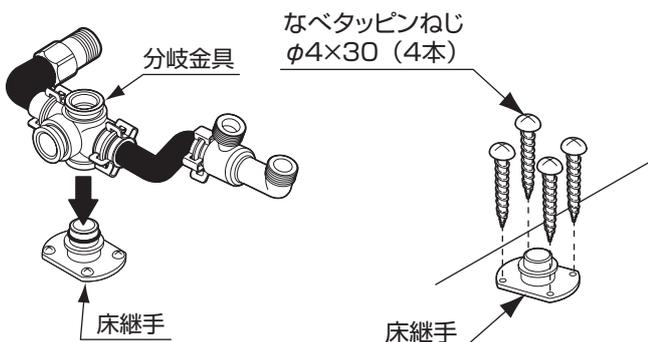
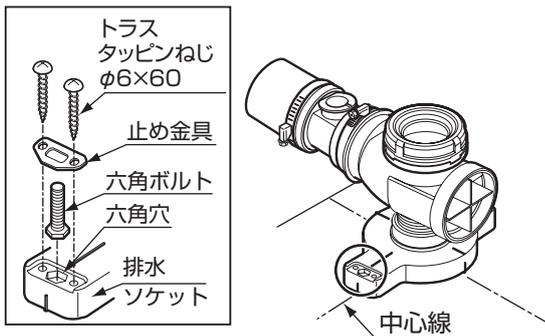
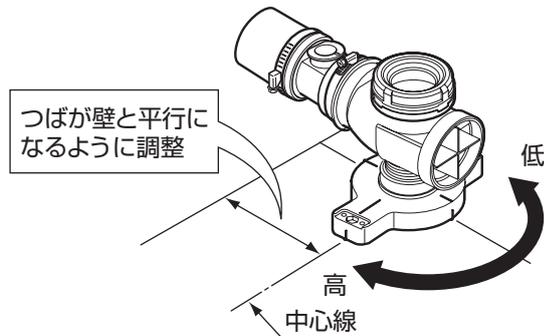
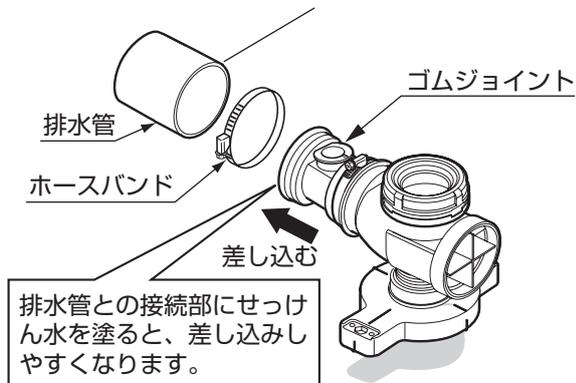
- ① 位置決めシートを便器取り付け中心線と排水ソケット中心線に合わせるようにおく。

- ② 取付穴位置をけがき、下穴をあける  
 固定片：φ4.5 2カ所  
 床継手：φ3 4カ所  
 排水ソケット：φ4.5 4カ所  
 ※タイル・コンクリート床の場合はコンクリート用プラグ（現場手配）を打ち込んでおく

給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

後ろ抜きリモデル（排水心高さ120～155mm）

## 4 排水ソケット・床継手の取り付け



- ①台座部を縮めた状態で、既設排水管にゴムジョイントを差し込み、ホースバンドで固定します。

## ポイント

ホースバンドの締め付け部は真上にこないようにする

## 注意



バンドを締め付ける際、手締めにてしっかり締め付ける

電動ドライバーで締め付けると、ゴムジョイントが破れ水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

- ②台座部を床に当たるまで回転させ、台座部が壁に平行になるように調整します。

## 注意



ゴムジョイントによる既設排水管と、排水ソケットの接続においては、逆勾配とならないように注意する

器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

- ③排水ソケット台座部は所定の位置に六角ボルトを立て、六角ボルトに止め金具を通したうえで、同梱のねじで床に固定します。

## 注意



排水ソケット台座部の六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にはめ込む

確実にはめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

- ④分岐金具から床継手を外し、床継手を所定の位置に同梱のねじで固定する。

給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

後ろ抜きリモデル（排水心高さ120～155mm）

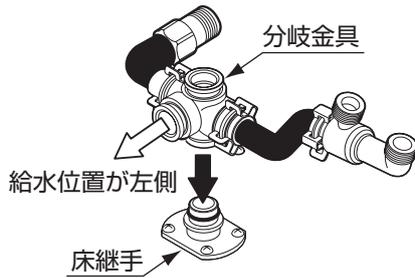
## ⑤ 床継手に分岐金具を取り付ける

①給水位置を確認し、分岐金具の向きを合わせます。

※分岐金具の向きは、給水位置が左右どちらにあるかによって異なります。

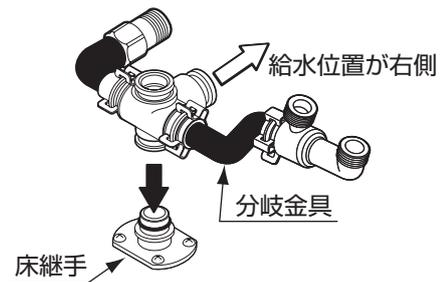
※インシュロックは切らないでください。

給水位置が左側にある場合



給水位置が右側にある場合

右給水の場合、分岐金具の向きを回転させ、給水方向を右に向けてください。



②分岐金具を床継手に取り付け、クイックファスナーで固定します。

給水位置が左側にある場合

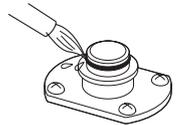


給水位置が右側にある場合

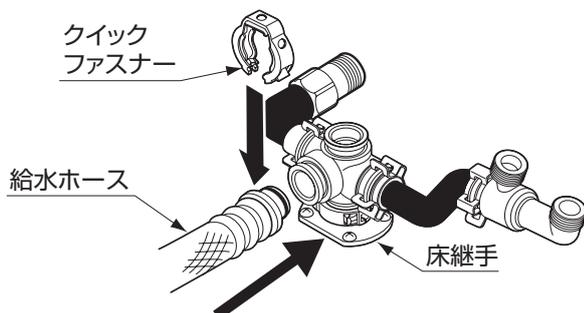


### ポイント

床継手に分岐金具を取り付ける場合は、Oリング部分に水をつけると取り付けやすくなります。



## ⑥ 分岐金具に給水ホースを接続する



分岐金具に給水ホースを接続し、クイックファスナーを取り付けます。

※分岐金具と給水ホースは、便器取り付け時に挟まない位置に取り回しておいてください。

給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

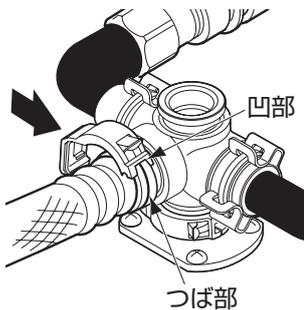
後ろ抜きリモデル（排水心高さ120～155mm）

## 注意

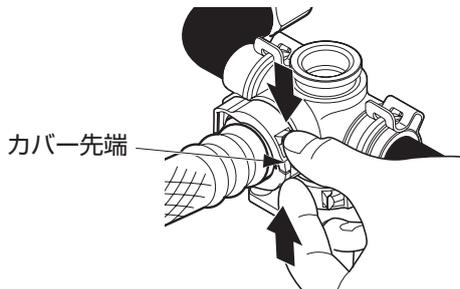


- ・分岐金具と給水ホースはすき間ができないように確実に押し込む
  - ・クイックファスナーは正しく取り付け、目視などで確認する
  - ・クイックファスナーのカバーが閉まらない場合は、クイックファスナーが正しく接続されていない可能性があり、そのまま使用すると水漏れの原因となります。必ずクイックファスナーを取り外して正しく接続し直す
- 取り付けが不十分な場合、外れて水漏れし、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

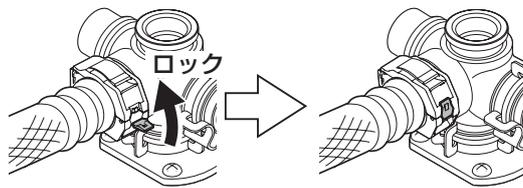
## クイックファスナーの取り付けかた



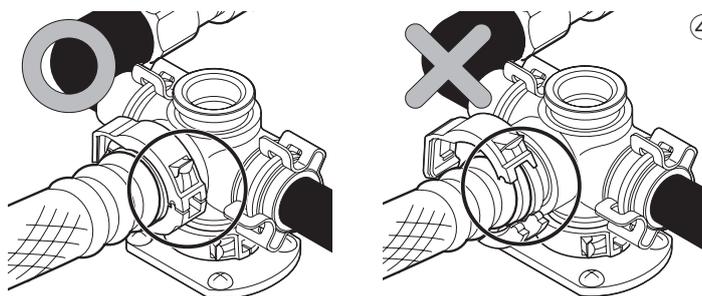
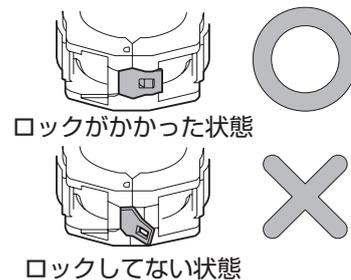
- ①分岐金具と給水ホースとのつば部にクイックファスナーカバー先端の凹部を合わせ、真っすぐ押し込みます。



- ②クイックファスナーは、カバーの先端を指先で確実に閉めます。



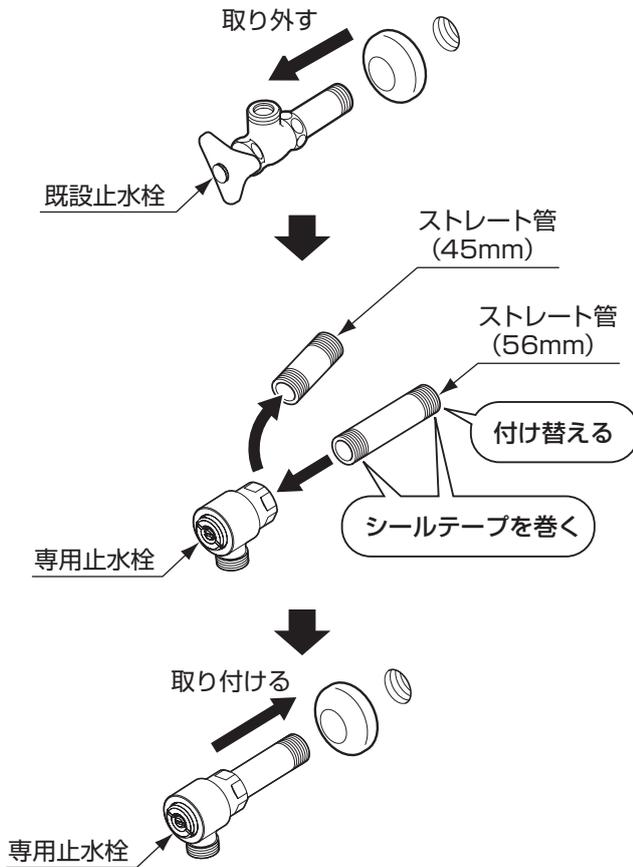
- ③ロックを確実にかけ、カバーが開かないことを確認します。



- ④クイックファスナーが確実に閉まっていることを目視などで確認します。

## 7 止水栓の取り替え

①既設の止水栓を取り外します。

②同梱の専用止水栓に組みつけられているストレート管(45mm)を外し、同梱のストレート管(56mm)に付け替えます。  
※ねじ部にはシールテープを巻いて取り付けてください。**ポイント**

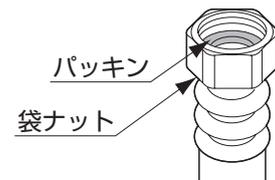
・56mmのストレート管に付け替えない場合、配管カバーにあたります。

③止水栓にリモデル給水ホースを接続します。

**注意**

必ず守る

- ・袋ナットの内側にパッキンが入っていることを確認する
- ・給水ホースの取り付けの際、ホースの折れに注意する
- ・専用止水栓の向き、およびホースの取り回しについては、ホースが折れ曲がらないような取り回しを行う  
水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。



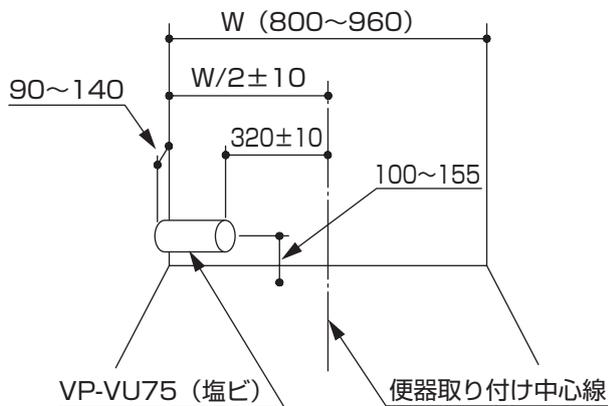
※給排水部が確実に施工されていることを確認してください。

つづきは36ページへ

給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

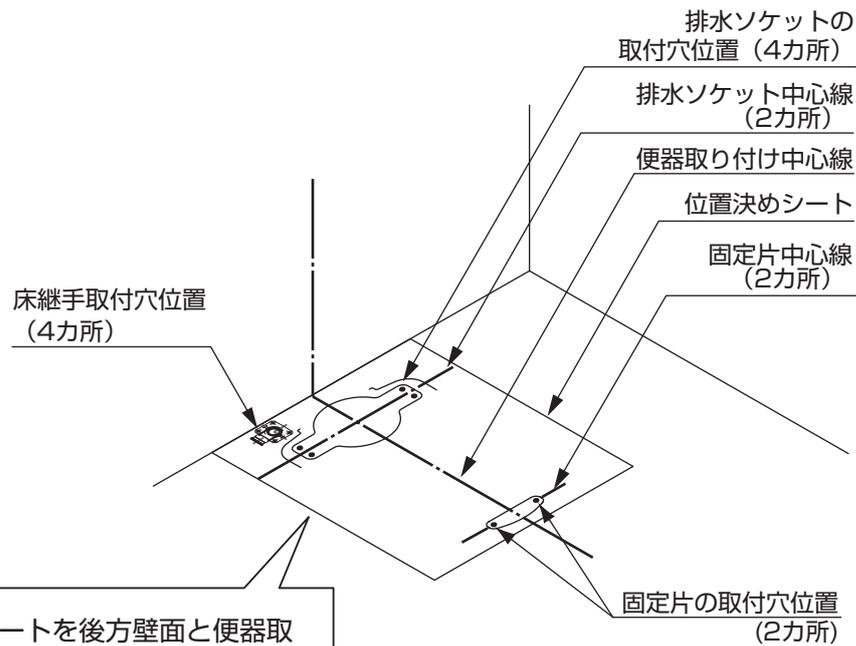
左右抜きリモデル（排水心高さ100～155mm）

## ① 給排水管の取り出し



- ① 便器取り付け中心線をけがきます。
- ② 既設の排水管が塩ビ排水管であることを確認します。
- ③ 排水方向、排水心高さを確認します。
- ④ 既設排水心高さは100～155mmであることを確認します。  
※別売の排水ジョイント (HP82S) を必ず使用してください。

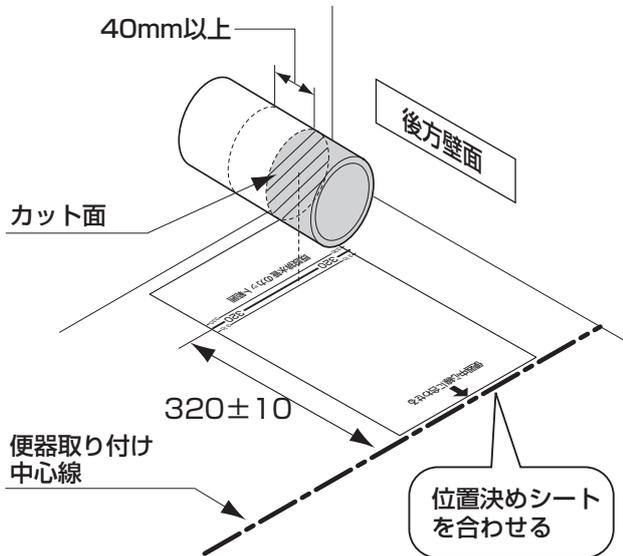
## ② 位置決めシートで固定穴位置、排水ソケット台座部の中心線をけがく



① 位置決めシートを後方壁面と便器取り付け中心線に合わせる

② 取付穴位置をけがき、下穴をあける  
 固定片：φ4.5 2カ所  
 床継手：φ3 4カ所  
 排水ソケット：φ4.5 4カ所  
 ※タイル・コンクリート床の場合はコンクリート用プラグ（現場手配）を打ち込んでおく

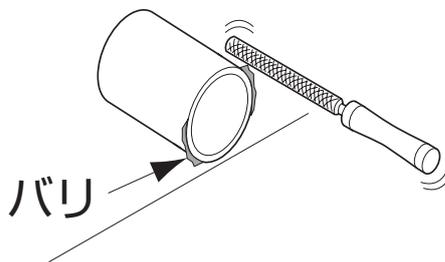
## ③ 既設排水管の長さ調整



- ① 既設排水管をカットします。  
位置決めシートに合わせ対応可能範囲内  
(320 ± 10mm) にてカット。

## ポイント

- ・排水ジョイントとの接続代は40mm以上確保してください。
- ・斜めにならないようにカットしてください。



- ② 既設排水管切断面のバリを取り除きます。

## 注意

**既設排水管切断面は、斜めにならないようカットする**

斜めにカットしたまま施工すると、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

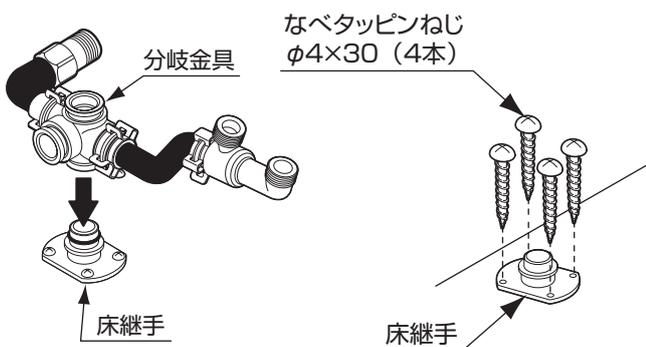


必ず守る

**既設排水管切断面のバリなどは、必ず取り除く**

バリなどが残ったまま施工すると、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

## ④ 床継手の取り付け



- ① 位置決めシートを外します。
- ② 分岐金具から床継手を外し、床継手を所定の位置に同梱のねじで固定します。

給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

左右抜きリモデル（排水心高さ100～155mm）

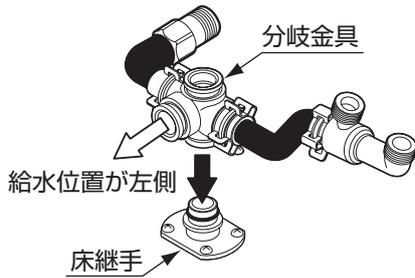
## ⑤ 床継手に分岐金具を取り付ける

① 給水位置を確認し、分岐金具の向きを合わせます。

※分岐金具の向きは、給水位置が左右どちらにあるかによって異なります。

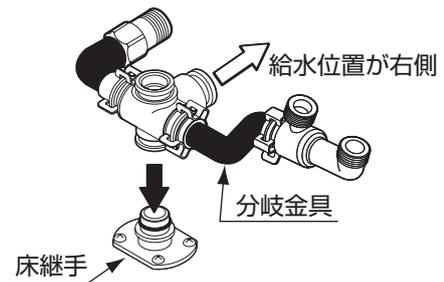
※インシュロックは切らないでください。

給水位置が左側にある場合



給水位置が右側にある場合

右給水の場合、分岐金具の向きを回転させ、給水方向を右に向けてください。

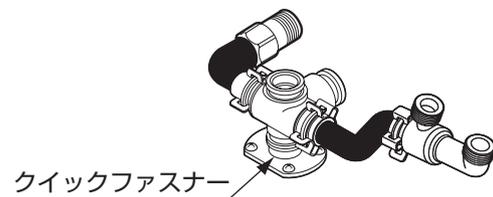


② 分岐金具を床継手に取り付け、クイックファスナーで固定します。

給水位置が左側にある場合

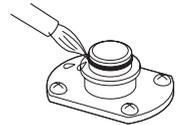


給水位置が右側にある場合

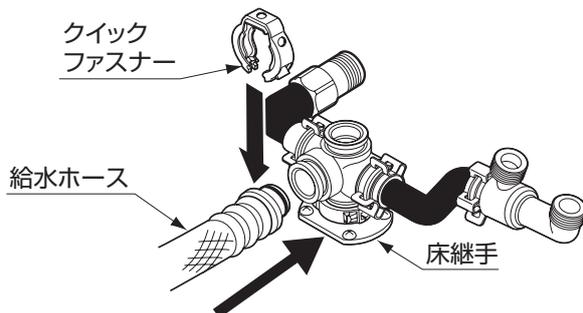


### ポイント

床継手に分岐金具を取り付ける場合は、Oリング部分に水をつけると取り付けやすくなります。



## ⑥ 分岐金具に給水ホースを接続する



分岐金具に給水ホースを接続し、クイックファスナーを取り付けます。

※分岐金具と給水ホースは、便器取り付け時に挟まない位置に取り回しておいてください。

給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

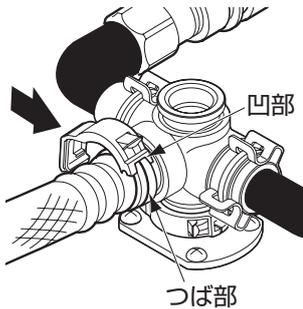
左右抜きリモデル（排水心高さ100～155mm）

## 注意

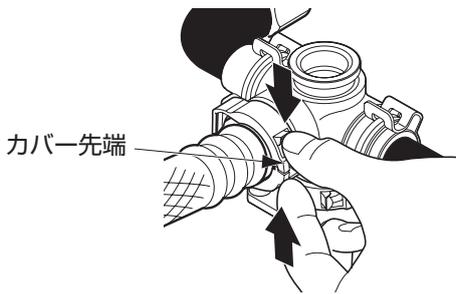


- ・分岐金具と給水ホースはすき間ができないように確実に押し込む
  - ・クイックファスナーは正しく取り付け、目視などで確認する
  - ・クイックファスナーのカバーが閉まらない場合は、クイックファスナーが正しく接続されていない可能性があり、そのまま使用すると水漏れの原因となります。必ずクイックファスナーを取り外して正しく接続し直す
- 取り付けが不十分な場合、外れて水漏れし、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

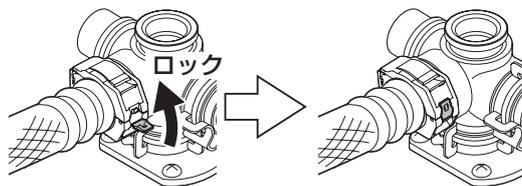
## クイックファスナーの取り付けかた



- ①分岐金具と給水ホースとのつば部にクイックファスナーカバー先端の凹部を合わせ、真っすぐ押し込みます。

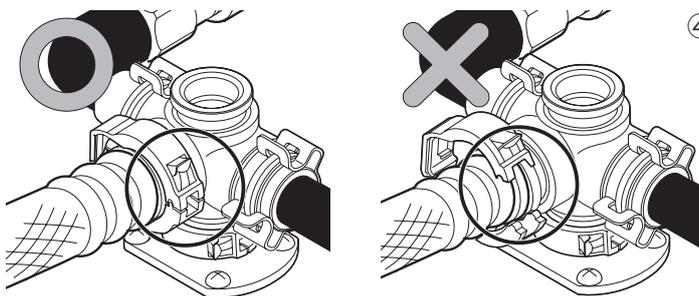
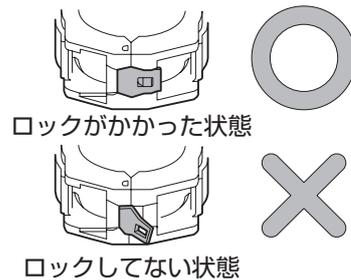


- ②クイックファスナーは、カバーの先端を指先で確実に閉めます。



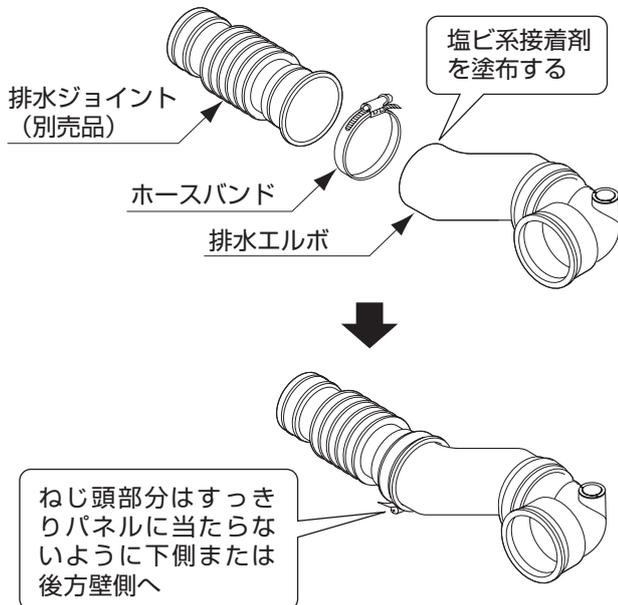
取り付け完了

- ③ロックを確実にかけ、カバーが開かないことを確認します。



- ④クイックファスナーが確実に閉まっていることを目視などで確認します。

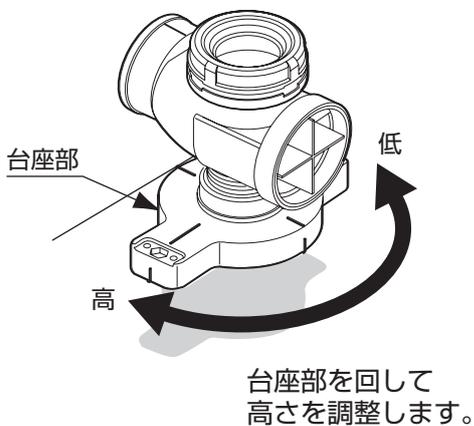
## ⑦ 排水ソケットと既設排水管の接続



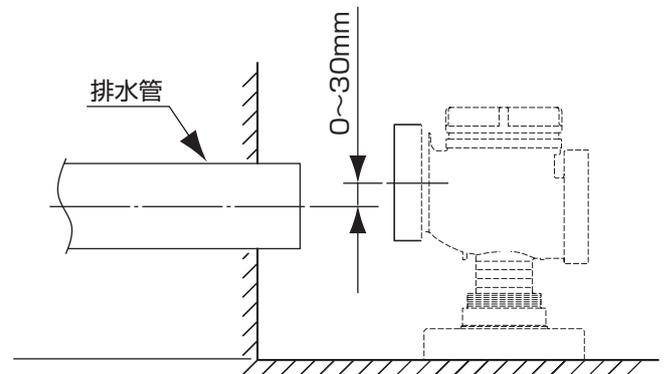
- ①排水エルボに、排水ジョイント（別売品：HP82S）を取り付け、接続部をホースバンドにて固定します。

## ポイント

- ・排水ジョイントは、TOTO 製をお使いください。
- ・排水ジョイントは必ず突き当たるまで、差し込んでください。



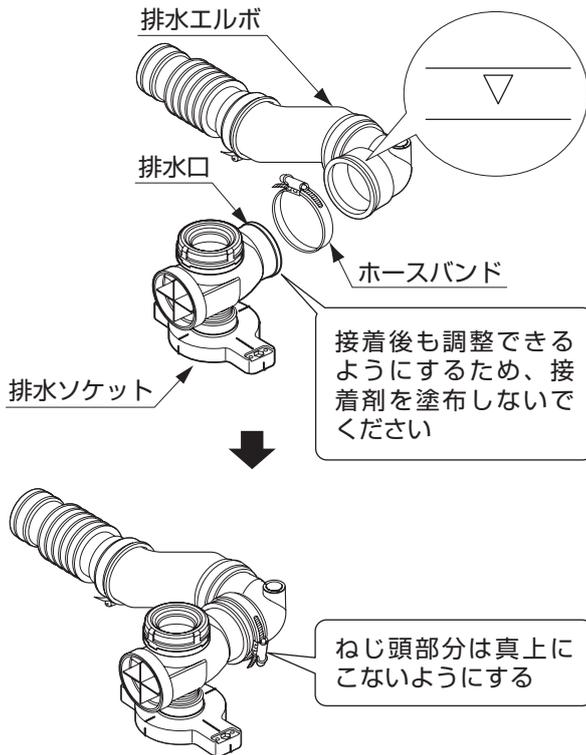
- ②排水ソケットの排水心高さを、既設排水管より低くならないように調整します。（最大30mm）



- （例：既設排水心高さ 120mm の場合、排水ソケットの排水心高さは 120～150mm）

給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

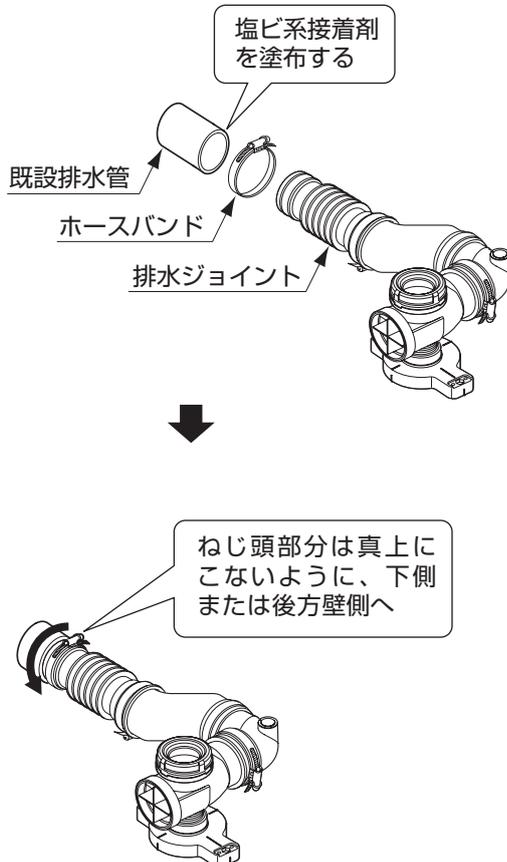
左右抜きリモデル（排水心高さ100～155mm）



- ③排水ソケットの排水口に排水エルボを取り付け、接続部をホースバンドにて固定します。

### ポイント

- ・排水エルボは必ず突き当たるまで、差し込んでください。
- ・排水エルボの▽マークが真上にくるようにしてください。



- ④既設排水管に排水ジョイントを取り付け、接続部をホースバンドにて固定します。

### ポイント

- ・排水ジョイントは必ず突き当たるまで、差し込んでください。

### ⚠ 注意



必ず守る

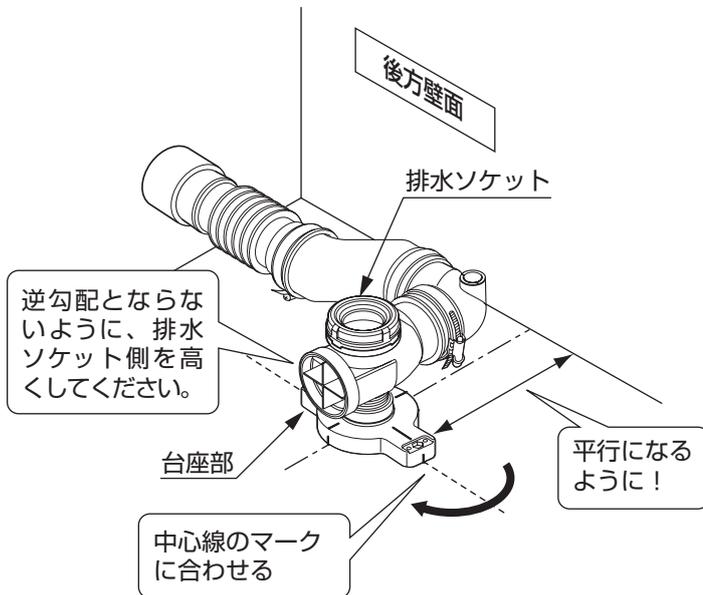
ホースバンドでの固定の際には、排水エルボや排水ジョイントにシワができないように締め付ける

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

左右抜きリモデル（排水心高さ100～155mm）

## ⑧ 排水ソケットの取り付け

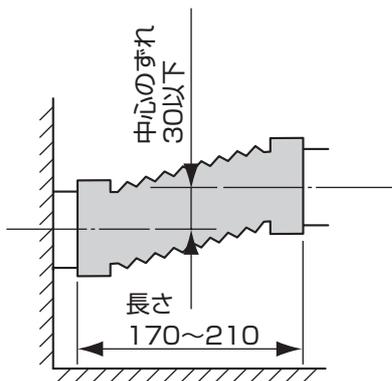


①排水ソケットの台座部を回転させ、逆勾配にならないように高さを調整します。

②台座部が後方壁面に平行になるように調整して、便器の位置決めシートでけがいた位置に設置します。

②でけがいた排水ソケット台座部の中心線に合わせてください。

## 排水ジョイント調整範囲



排水ジョイント(別売品：HP82S)は上図の範囲内に納まるように調整してください。

## ⚠ 注意

排水ジョイントによる排水管と排水ソケットの接続においては、逆勾配とならないように注意する



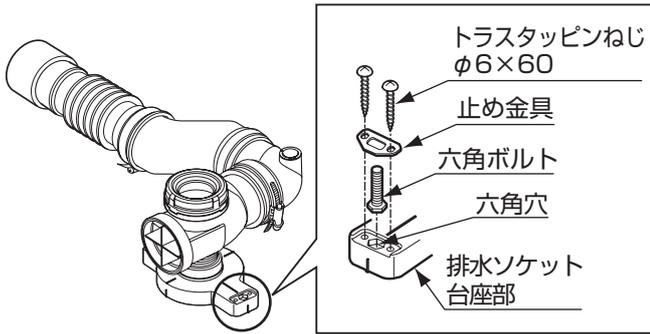
必ず守る

器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

排水ジョイントや排水エルボがつぶれたり無理な力が加わっていないか確認する

給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

左右抜きリモデル（排水心高さ100～155mm）



- ③排水ソケット台座部は所定の位置に六角ボルトを立て、六角ボルトに止め金具を通したうえで、同梱のねじで床に固定します。

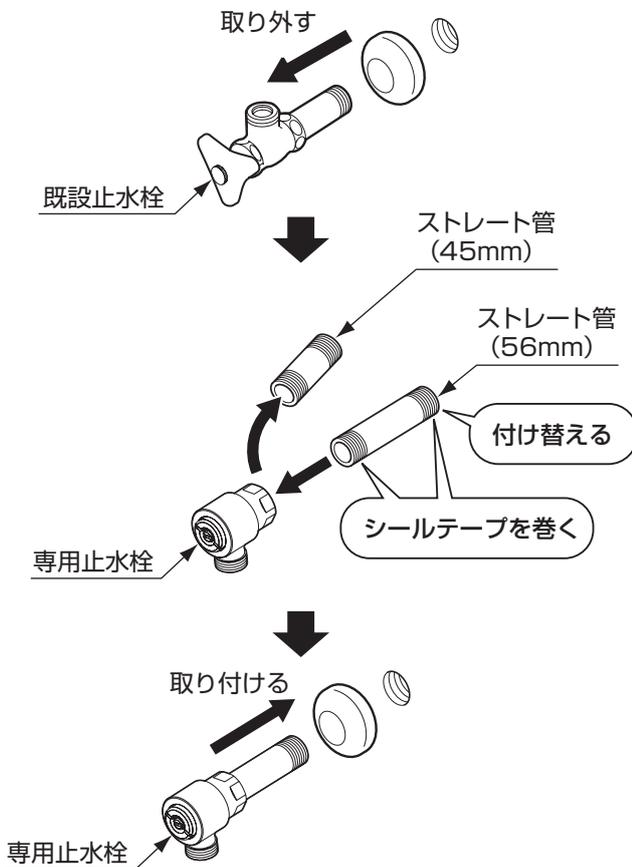
⚠ 注意



必ず守る

排水ソケット台座部の六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にはめ込む  
確実にはめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

## ⑨ 止水栓の取り替え



- ①既設の止水栓を取り外します。

- ②同梱の専用止水栓に組みつけられているストレー管(45mm)を外し、同梱のストレー管(56mm)に付け替えます。  
※ねじ部にはシールテープを巻いて取り付けください。

### ポイント

- ・56mmのストレー管に付け替えない場合、配管カバーにあたります。

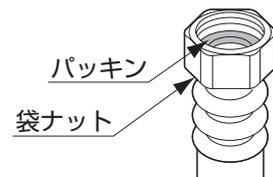
- ③止水栓にリモデル給水ホースを接続します。

⚠ 注意



必ず守る

- ・袋ナットの内側にパッキンが入っていることを確認する
  - ・給水ホースの取り付けの際、ホースの折れに注意する
  - ・専用止水栓の向き、およびホースの取り回しについては、ホースが折れ曲がらないような取り回しを行う
- 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



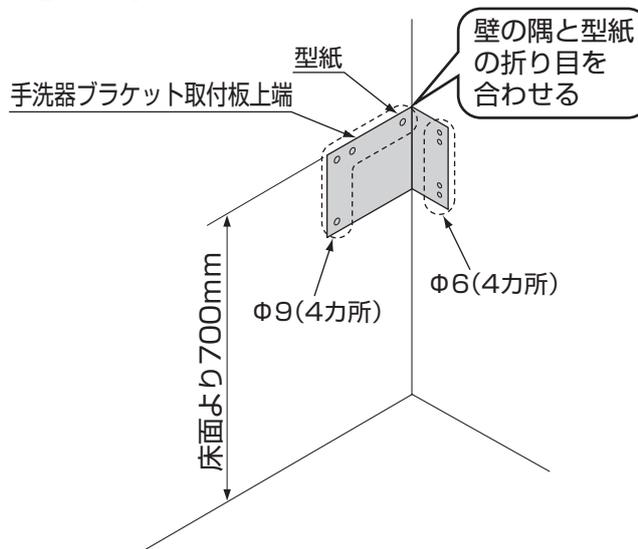
※給排水部が確実に施工されていることを確認してください。

つづきは36ページへ

## ① 手洗器固定部材の取り付け

## 1. 手洗器固定部材の取付位置を型紙1を使用してけがき、下穴をあける。

※型紙の使い方は型紙に記載していますので必ずお読みください。



① 手洗器ブラケット取付板の上端をけがく。

② ①でけがいた線に型紙の上端を合わせ、固定位置をけがき、下穴(Φ9・Φ6)をあける。

## ポイント

下地材が合板の場合はボードアンカーは使用しません。取付穴位置に下穴(Φ3)をあけてください。

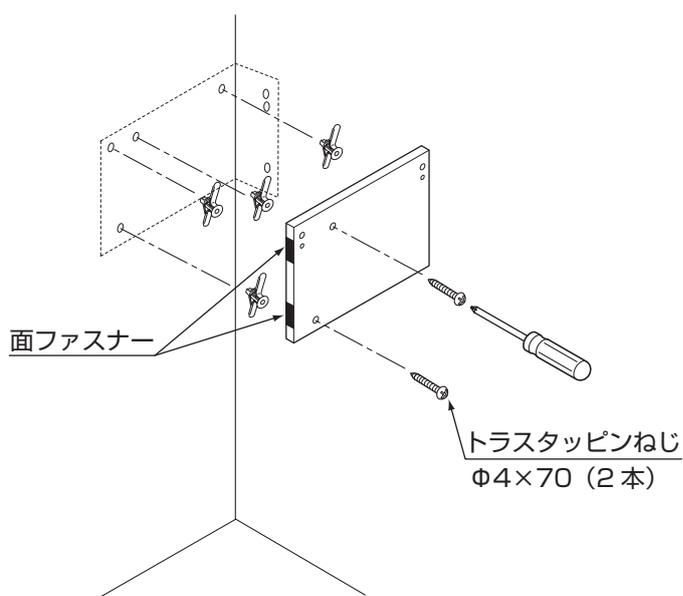
## 2. 下穴にボードアンカーを差し込み、手洗器ブラケット取付板を取り付ける。

## 注意



必ず守る

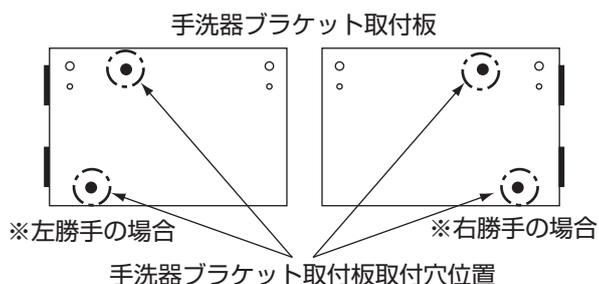
ボードアンカーへのねじ固定は電動ドライバーを使用しない(手締めのこと)  
締めすぎるとボードアンカーが壊れ所定の強度が保てません。



## ポイント



ボードアンカーは羽を折りたたんで差し込む



## 共通

3. コーナー固定金具を取り付ける（隅柱がある場合のみ）。  
 ※隅柱がない場合は、コーナー固定金具は必要ありません。  
 4. 手洗器ブラケットを取り付ける。へ進んでください。

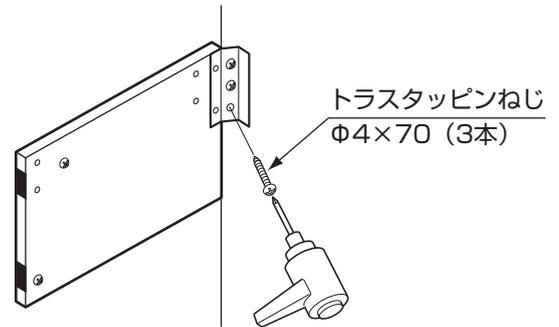
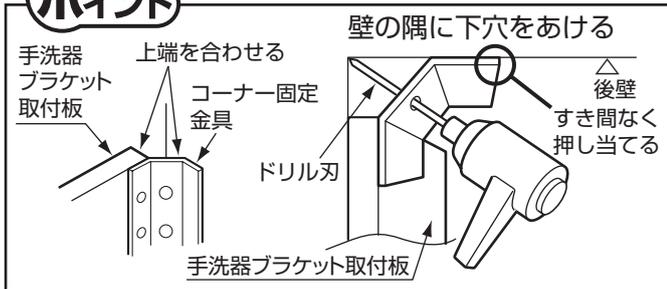
①

コーナー固定金具の取付穴をガイドにして隅柱に下穴（φ3）をあける。

②

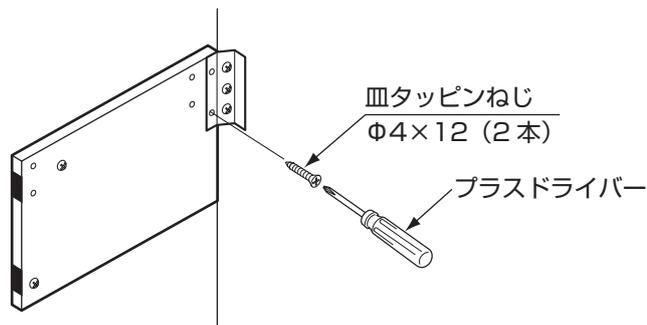
コーナー固定金具を同梱のねじで隅柱に固定する。

## ポイント

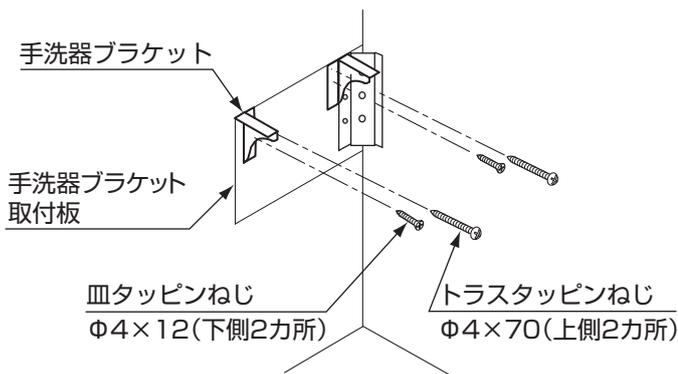


③

コーナー固定金具の取付穴をガイドにして手洗器ブラケット取付板に下穴（φ3）をあけ、同梱のねじで固定する。  
 ※手締めのこと

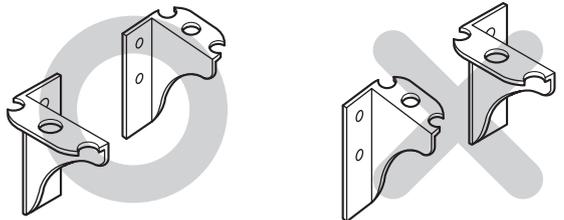


## 4. 手洗器ブラケットを取り付ける。



## ポイント

- ・手洗器ブラケット取付板の下穴に固定します。
- ・手洗器ブラケットの向きに注意してください。



## ⚠ 注意

皿タッピンねじで固定の際は電動ドライバーを使用しない（手締めのこと）  
 締めすぎるとねじが利かなくなります。



必ず守る

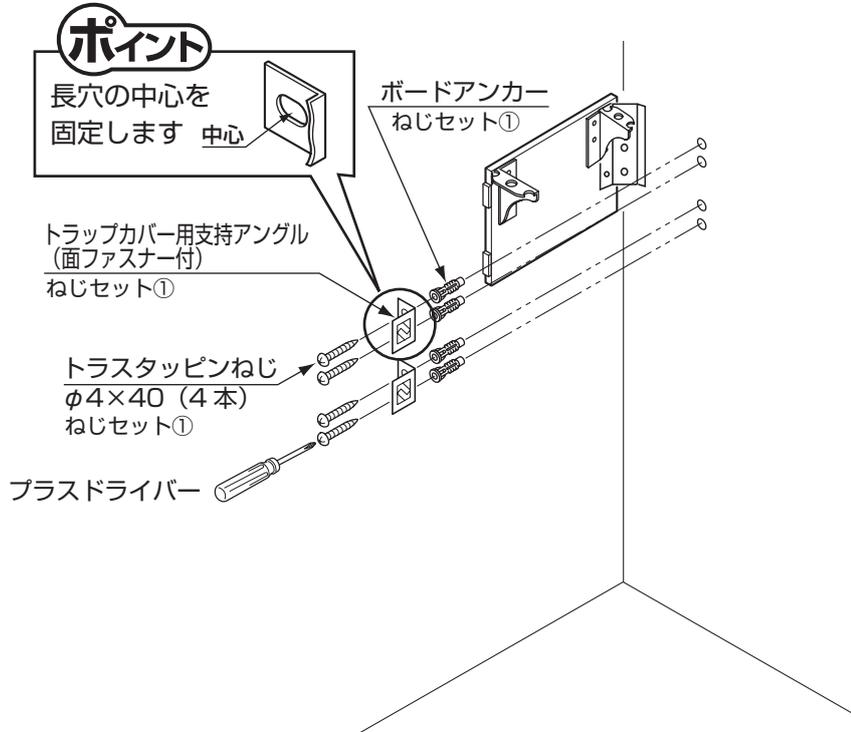
ボードアンカーへのねじ固定は電動ドライバーを使用しない（手締めのこと）  
 締めすぎるとボードアンカーが壊れ所定の強度が保てません。

後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデルは39ページへ

給水隠ぺいタイプ・便器品番：CS985BDP

後ろ抜き（排水心高さ120mm）

5. トラップカバー用支持アングルを固定する。  
※取付位置は、型紙にて確認してください。



- ① トラップカバー用支持アングルの下穴 (φ9) にボードアンカー  をさしこむ。
- ② トラップカバー用支持アングルを同梱のねじで固定する。

**注意**

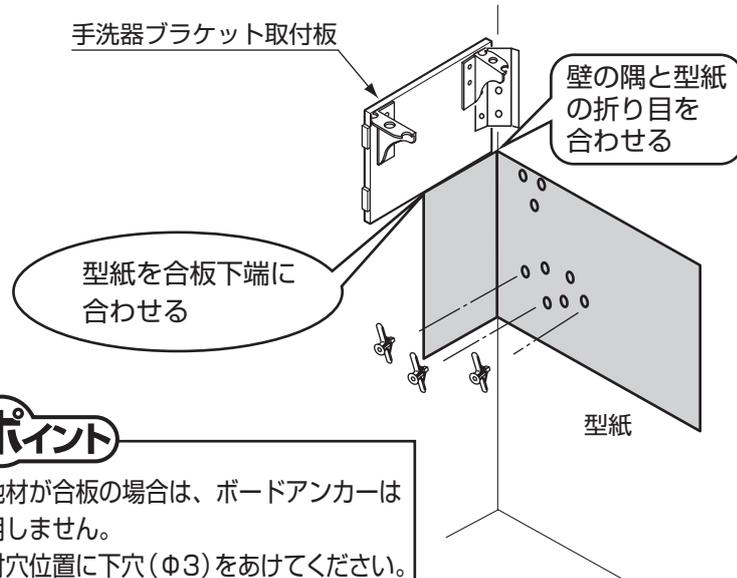


ボードアンカーへのねじ固定は電動ドライバーを使用しない(手締めのこと)  
締めすぎるとボードアンカーが壊れ所定の強度が保てません。

給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデル

## 5. 配管カバー用部材の取付位置を型紙2 (GH05677) を使用してけがき、下穴をあける。



## ポイント

下地材が合板の場合は、ボードアンカーは使用しません。  
取付穴位置に下穴(φ3)をあけてください。

- ① 型紙を使用し、次の取付位置をけがく。
  - ・配管カバー用面ファスナー (4カ所)
  - ・手洗器給水ホースバンド (3カ所)
  - ・配管カバー用支持アングル (1カ所)
  - ・排水ホース用支持アングル (1カ所)
- ② 下穴 (φ9) をあけ、ボードアンカーを差し込む。(9カ所)

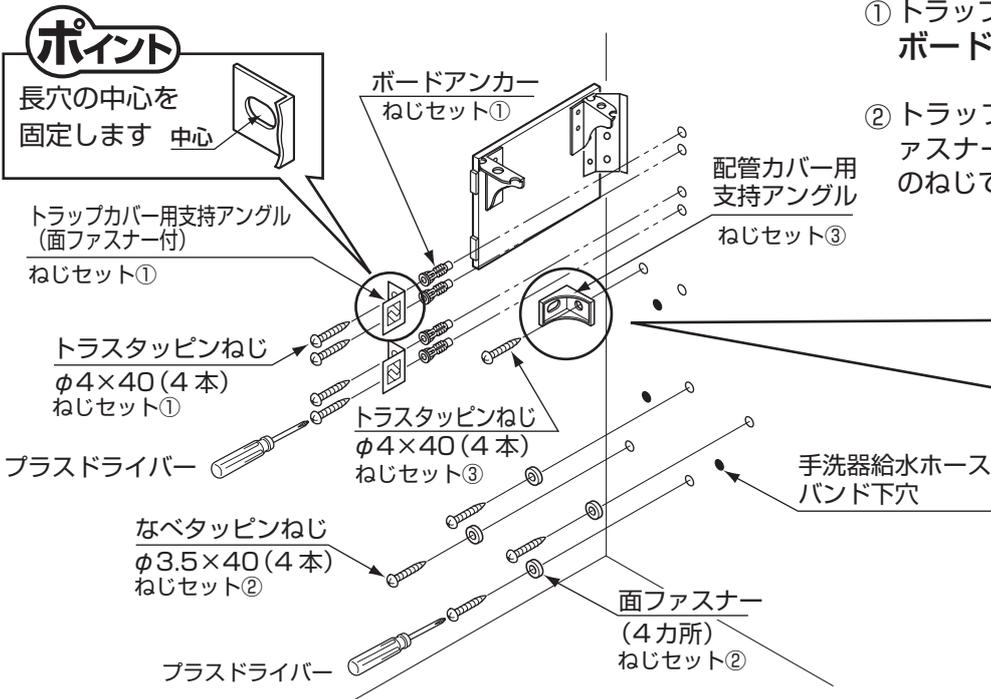
## ポイント



ボードアンカーは羽を折りたたんで差し込む

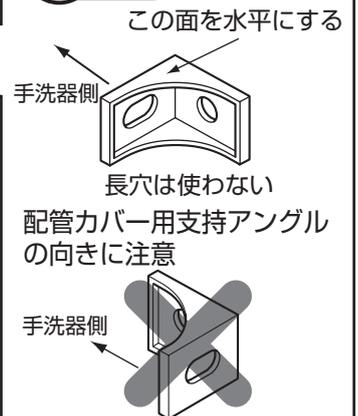
## 6. 配管カバー用面ファスナー・トラップカバー用支持アングルを固定する。

※取付位置は、型紙にて確認してください。



- ① トラップカバー用支持アングルの下穴にボードアンカーをさしこむ。
- ② トラップカバー用支持アングルと面ファスナーと配管カバー用支持材を同梱のねじで固定する。

## ポイント



## 注意



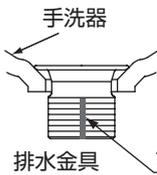
ボードアンカーへのねじ固定は電動ドライバーを使用しない(手締めのこと)  
必ず守る 締めすぎるとボードアンカーが壊れ所定の強度が保てません。

つづきは40ページへ

## ② 手洗器の取り付け

## 1. 手洗器を組み立てる。

## ⚠ 注意



排水金具のねじ部には必ずシリコン系シーラントを塗布する

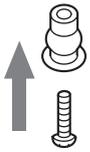
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

シリコン系シーラント（縦に入れる）

## ①

ブッシュを手洗器裏面の所定の穴にさしこむ

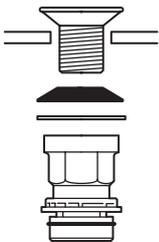
## ポイント



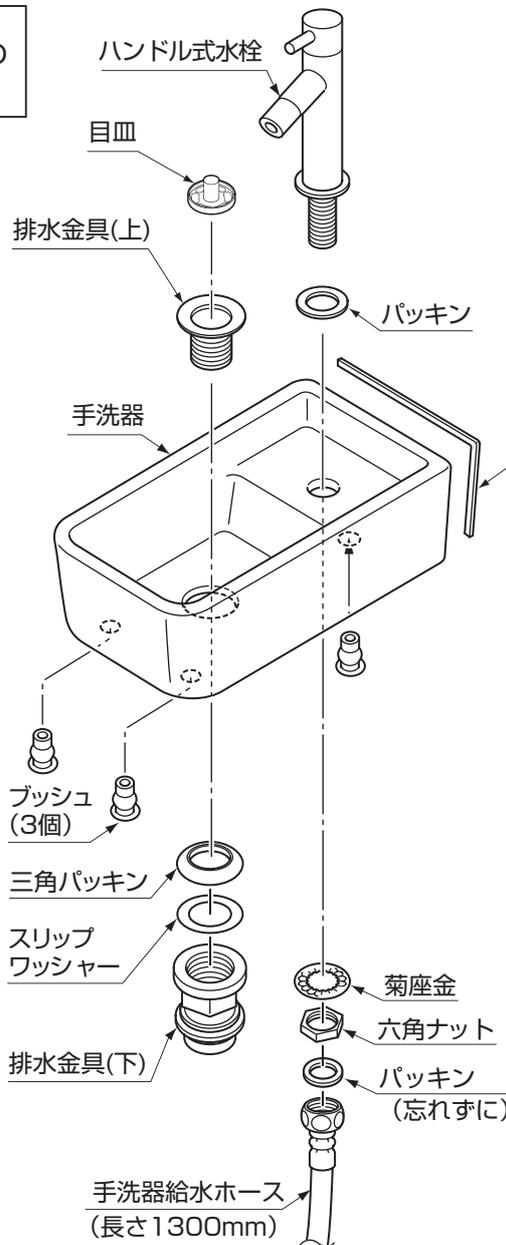
取り付けねじで押しと容易に挿入できます。

## ポイント

排水金具(下)は手締めした後、工具で軽く締めつけてください。  
(締めすぎると排水金具(下)が割れるおそれがあります)



三角パッキンの向きは必ず図のようにしてください。



## ②

- ・排水金具(上)を左図のように手洗器にセットする
- ・三角パッキン・スリップワッシャーを排水金具(上)に通す
- ・ねじ部にシリコン系シーラントを塗布し排水金具(下)を締め付ける

## ③

水栓を手洗器に取り付け手洗器給水ホースを水栓に接続する

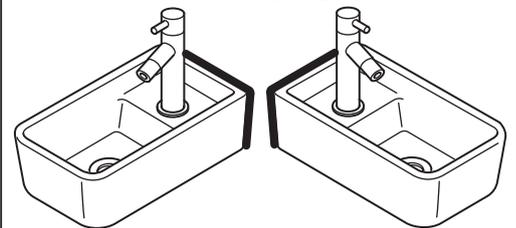
## ポイント

六角ナット・フレキホースの締め付けにTZ工具を使用すると作業がしやすくなります。

(別売品：TZY15NもしくはTZ15L)

## ④

下図を参照しクッション材を貼る  
クッション材貼付位置



左勝手の場合

右勝手の場合

クッション材は手洗器からはみ出さないようにする

## ⑤

【後ろ抜き120mmの場合】

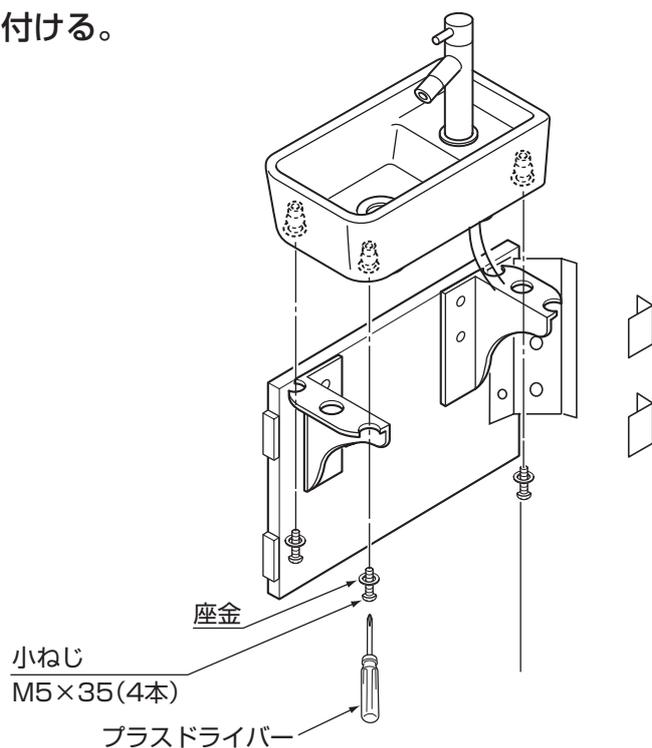
目皿を取り付ける

※後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデルには目皿はありません。

<図は左勝手の場合を示します>

## 共通

2. 手洗器を取り付ける。



## ポイント

手洗器を奥壁に  
押し当てる

## ポイント

手締めする

後ろ抜き（排水心高さ120mm）は42ページへ

後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデルは47ページへ

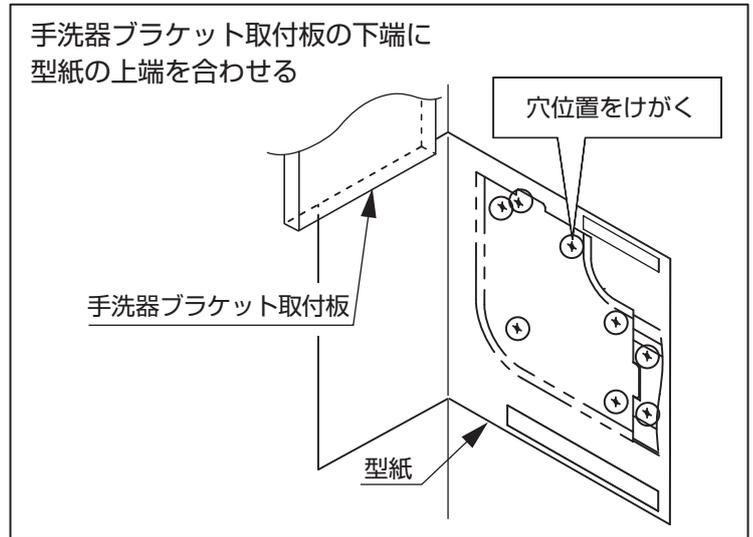
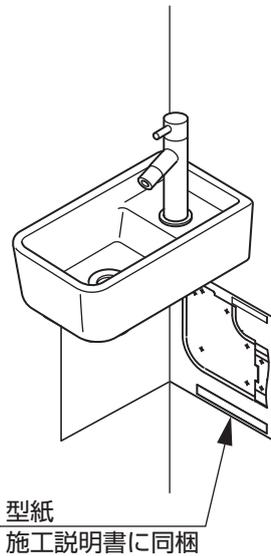
給水隠ぺいタイプ・便器品番：CS985BDP

後ろ抜き（排水心高さ120mm）

## ① 配管ブラケットの取り付け

① コーナーブラケットの取り付け穴位置をけがく。

※ 型紙の使い方は型紙に記載していますので必ずお読みください。（型紙GH05609Vを使用）



② けがいた位置に下穴（φ9）をあけ、ボードアンカーを差し込む。

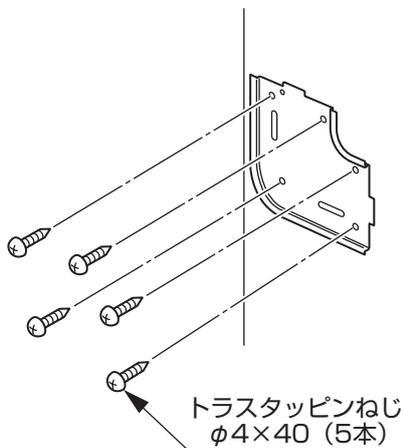
## ポイント

ボードアンカーは  
羽を折りたたんで  
差し込む

## ポイント

下地材が合板の場合は、ボードアンカーは  
使用しません。  
取付穴位置に下穴（φ3）をあけてください。

③ L型配管ブラケットを取り付ける。

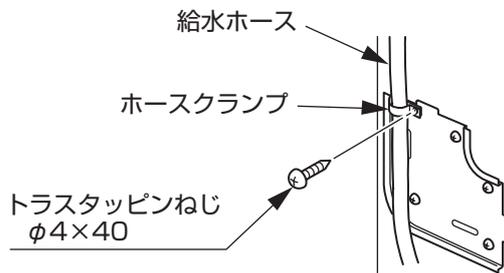


# 3

## 給水管・排水管の取り付け

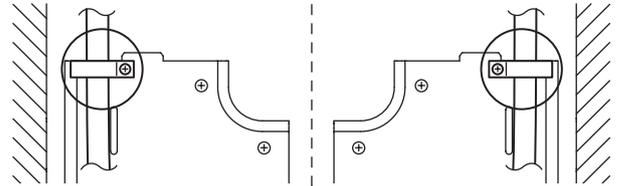
給水隠ぺいタイプ・便器品番：CS985BDP 後ろ抜き（排水心高さ120mm）

④ホースクランプで給水ホースを固定する。

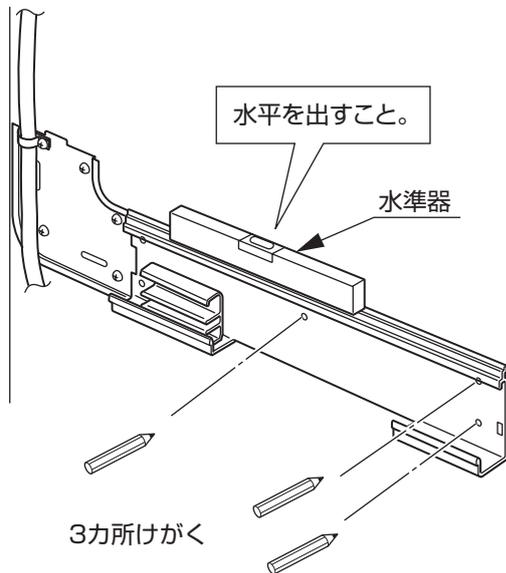


### ポイント

ホースクランプの向きに注意してください。

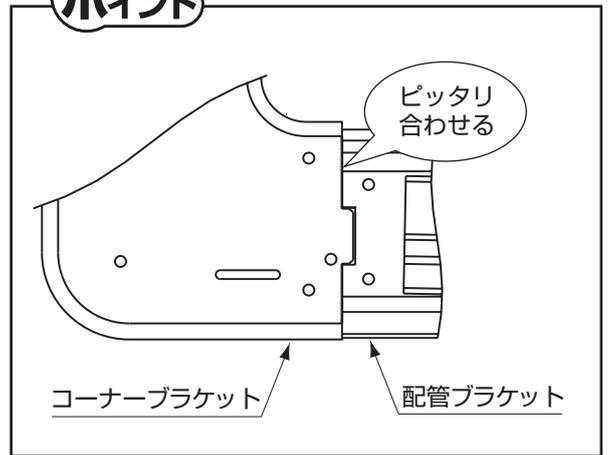


⑤配管ブラケットをあわせ、取付穴位置をけがく。



### ポイント

ピッタリ  
合わせる



⑥けがいた位置（3カ所）にボードアンカーを入れる。

### ポイント

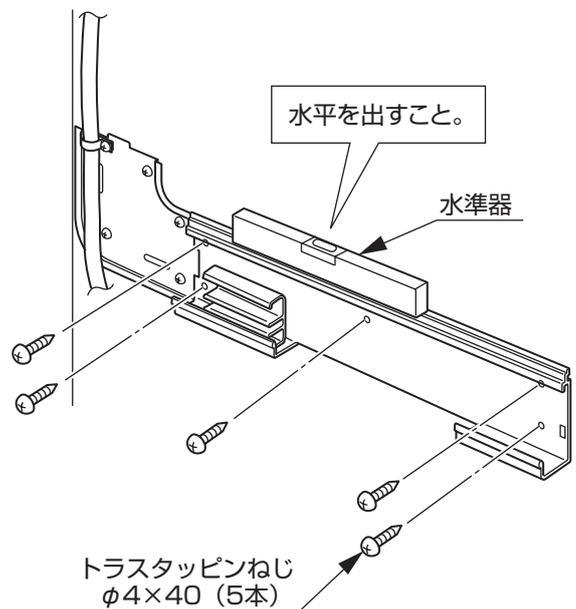
下地材が合板の場合は、ボードアンカーは  
使用しません。  
取付穴位置に下穴（φ3）をあけてください。

### ポイント



ボードアンカーは  
羽を折りたたんで  
差し込む

⑦配管ブラケットを取り付ける。

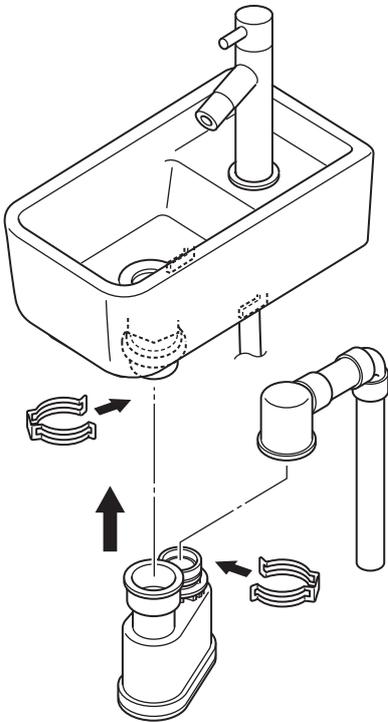


給水隠ぺいタイプ・便器品番：CS985BDP

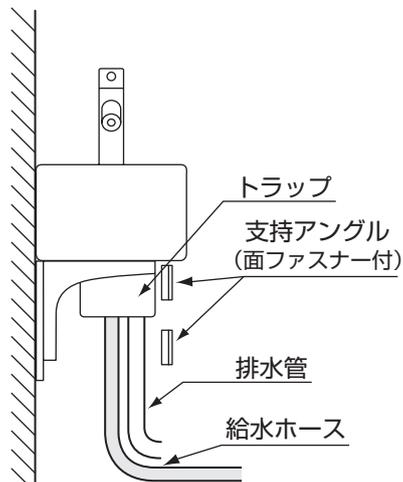
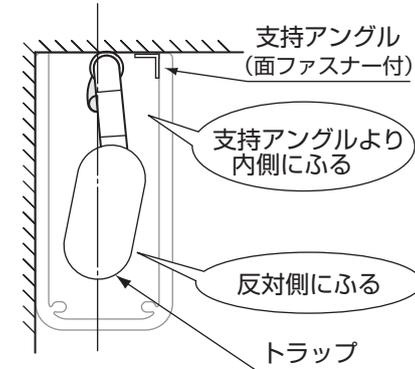
後ろ抜き（排水心高さ120mm）

## ② 配水管の取り付け

① 排水管を組み立てる。



トラップ位置調整&lt;左勝手の場合&gt;



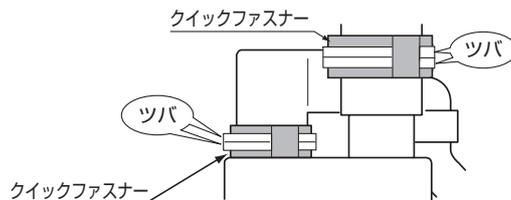
## ⚠ 注意

クイックファスナーが正しく固定されていることを確認する  
 ※クイックファスナーがスムーズに1回転することを確認する  
 ※クイックファスナーの全周にツバがかかっていることを確認する

水漏れして家財などがぬれる財産損害発生の原因となります。



必ず守る

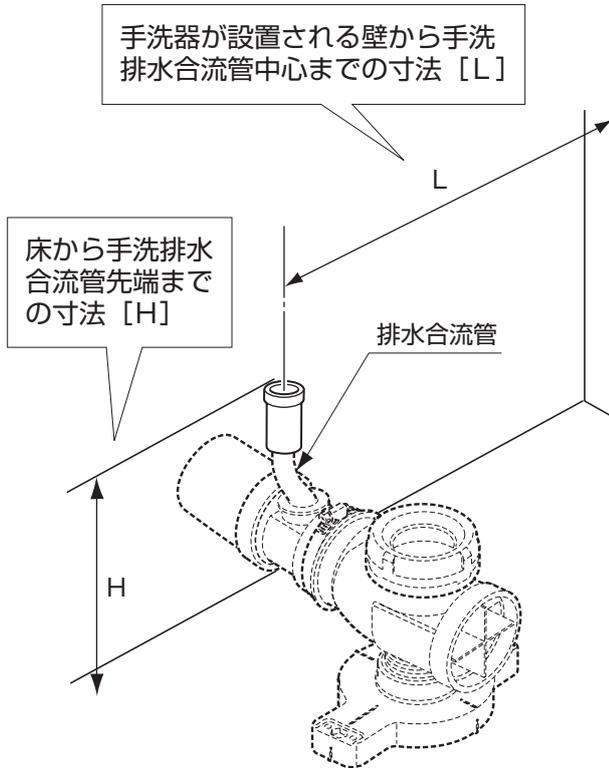


# 3

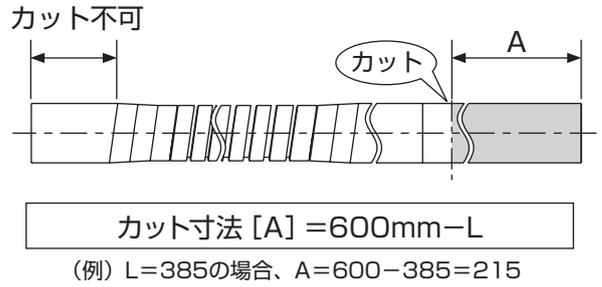
## 給水管・排水管の取り付け

給水隠ぺいタイプ・便器品番：CS985BDP 後ろ抜き（排水心高さ120mm）

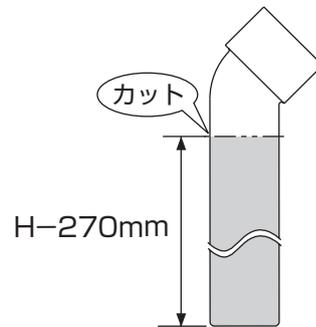
②排水ホース・45° エルボをカットする。



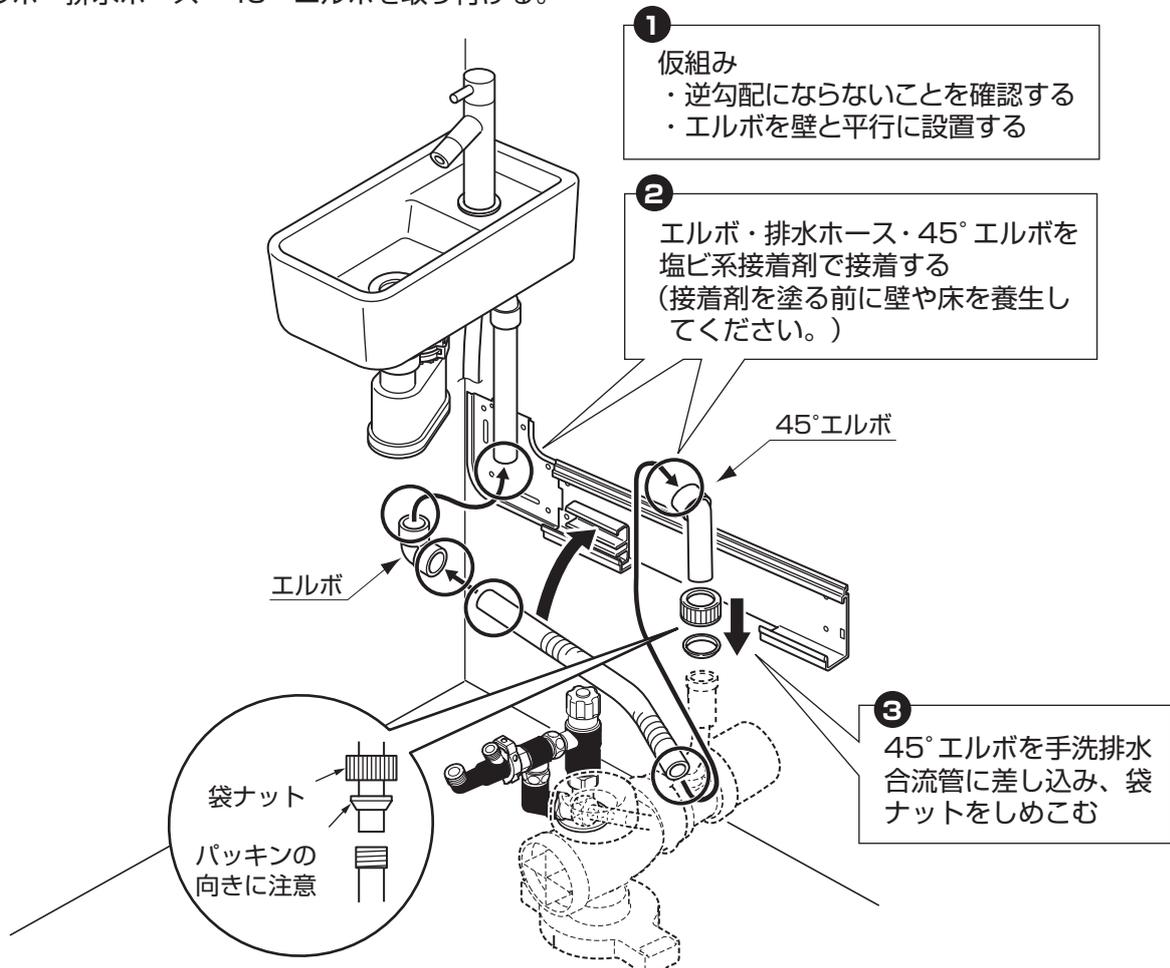
●排水ホースを [A] でカットする。



●45° エルボを [H-270] でカットする。



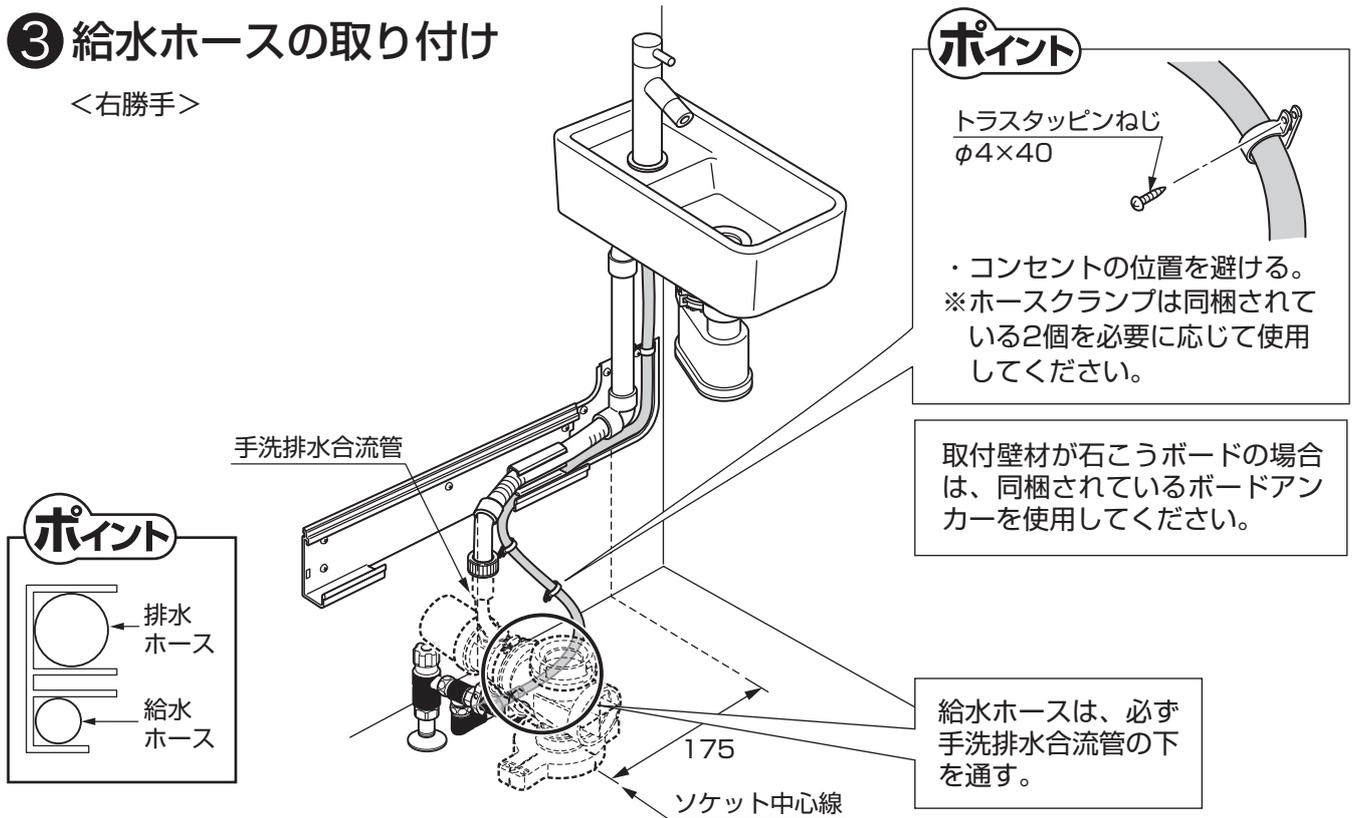
③エルボ・排水ホース・45° エルボを取り付ける。



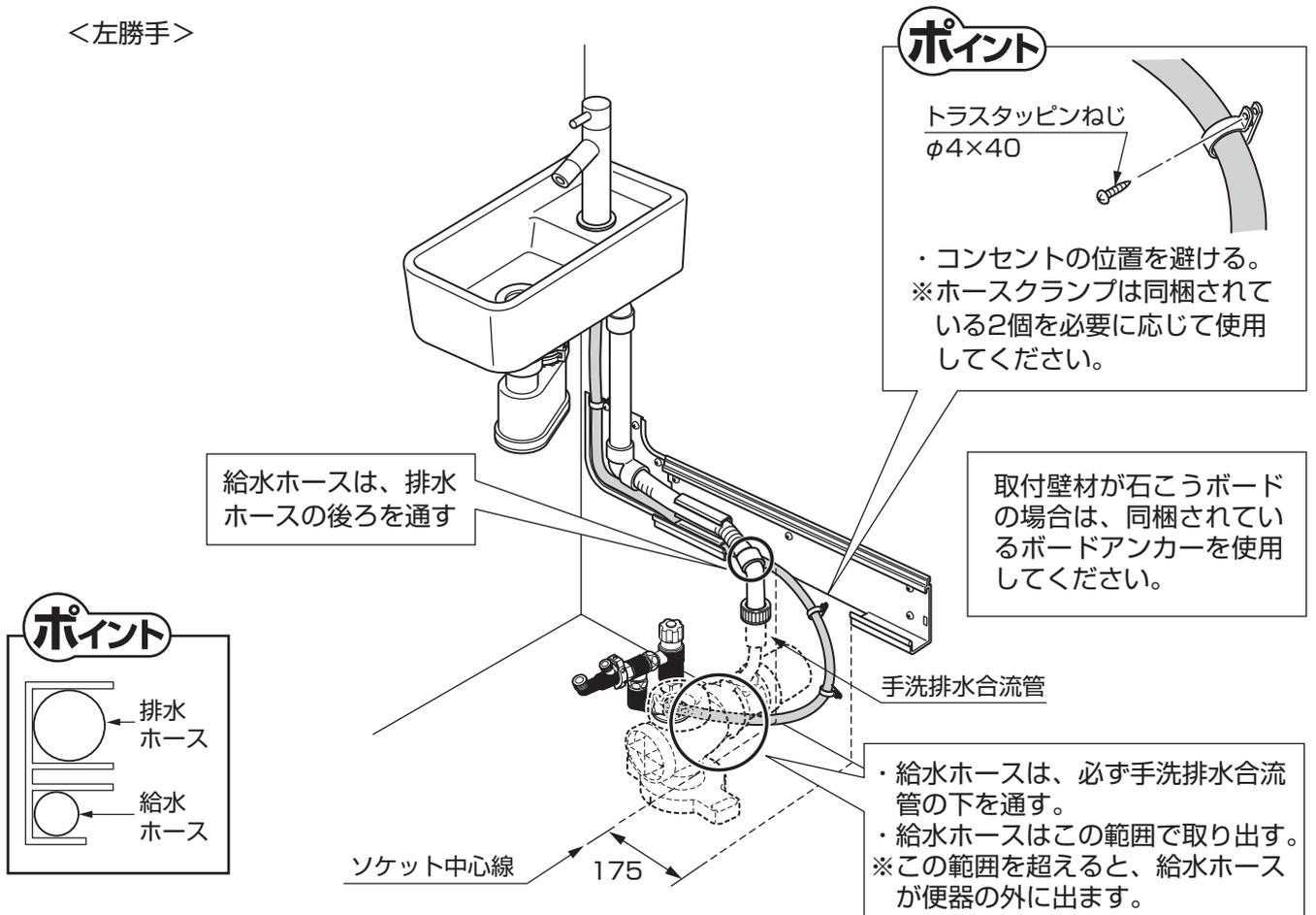
給水隠ぺいタイプ・便器品番：CS985BDP 後ろ抜き（排水心高さ120mm）

## ③ 給水ホースの取り付け

&lt;右勝手&gt;



&lt;左勝手&gt;



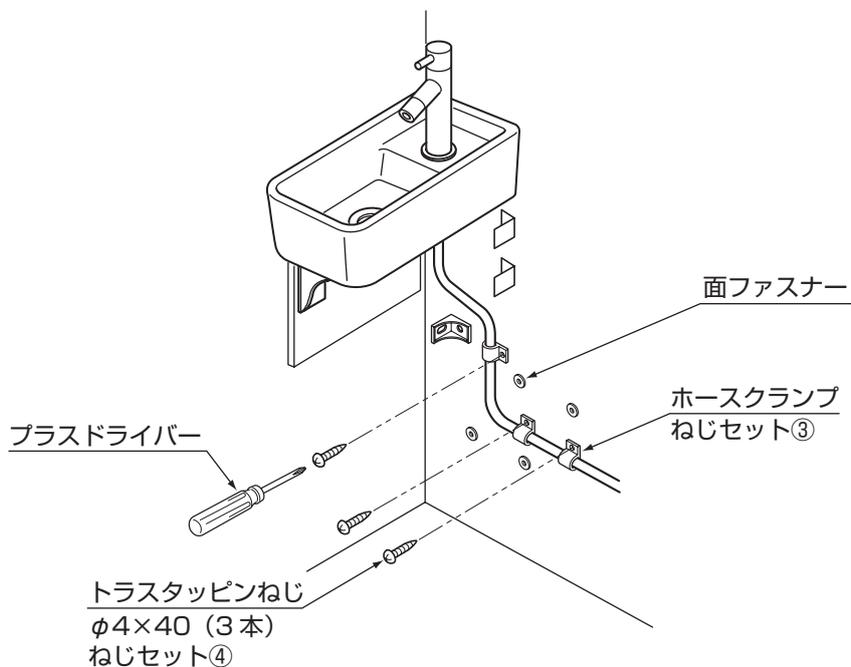
給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデル

**① 給水ホースの取り付け**

手洗器給水ホースをホースクランプで固定する。

※取付位置は、型紙にて確認してください。

**ポイント**

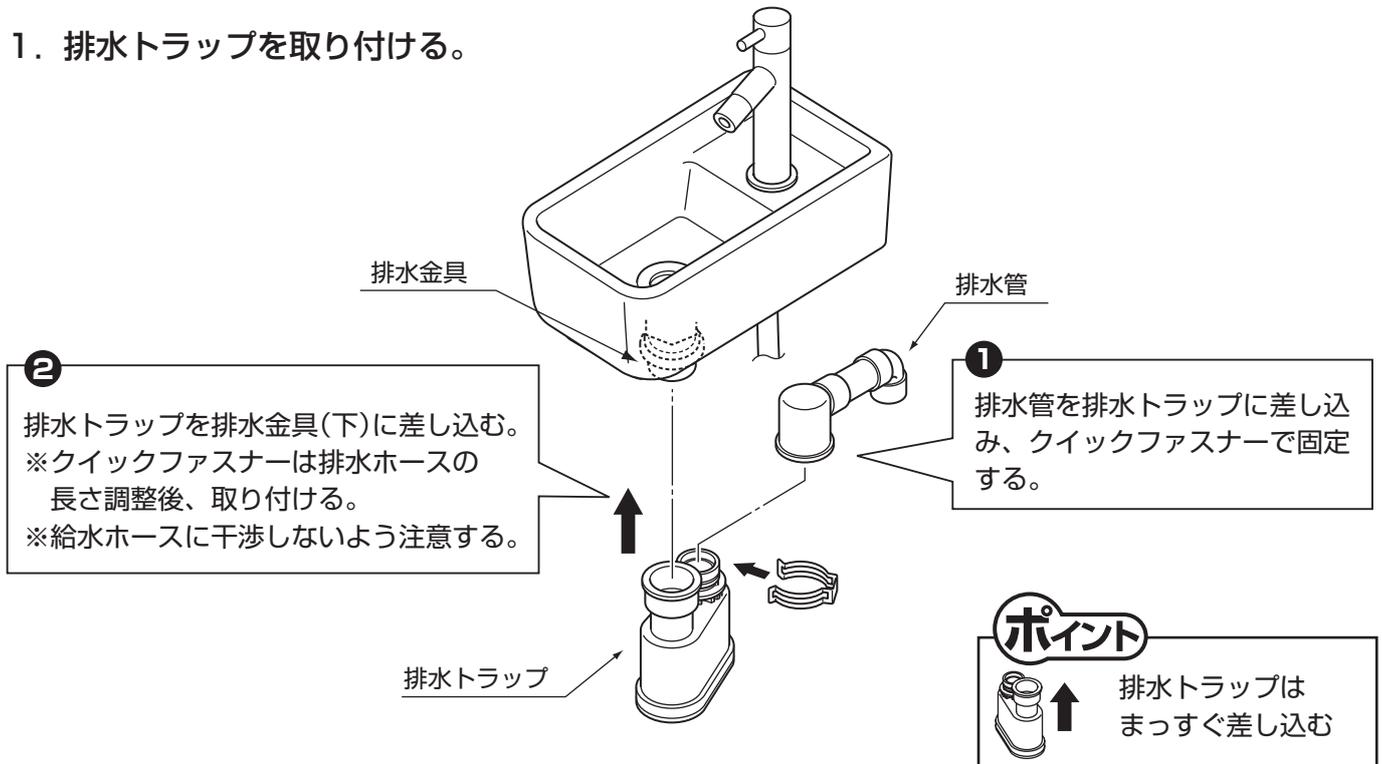
手締めする

給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデル

## ② 排水管の取り付け

1. 排水トラップを取り付ける。



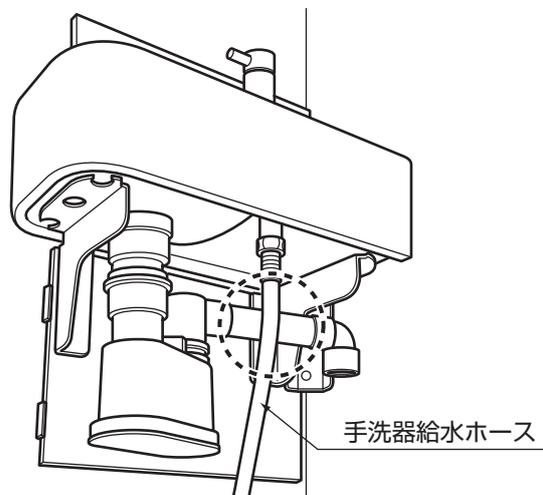
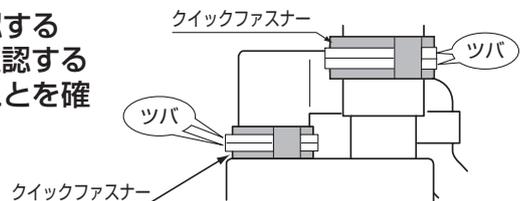
## ⚠ 注意



必ず守る

クイックファスナーが正しく固定されていることを確認する  
 ※クイックファスナーがスムーズに1回転することを確認する  
 ※クイックファスナーの全周にツバがかかっていることを確認する

水漏れして家財などがぬれる財産損害発生の原因となります。

**ポイント**

手洗器給水ホースは  
排水管の前を通すこと

# 3

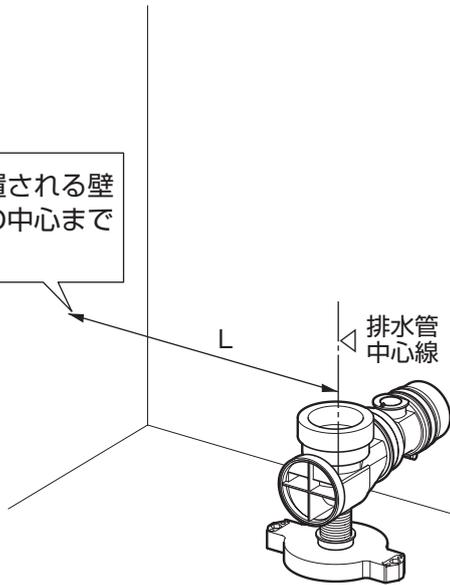
## 給水管・排水管の取り付け

給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデル

2. 手洗器排水ホースをカットする。カット寸法〔A〕を設定しカットする。

手洗器が設置される壁から排水管の中心までの実測寸法

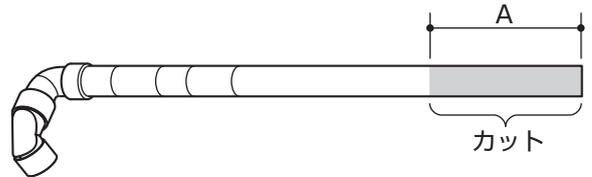


カット寸法〔A〕=590mm-L

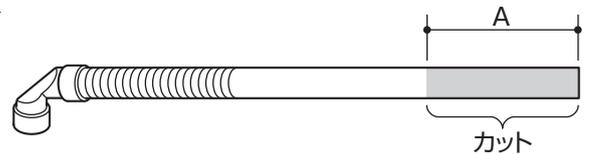
(例) L=385mmの場合：

A=590mm-385mm=205mm

<後ろ抜きリモデルホース>

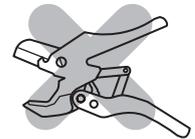


<左右抜きリモデルホース>



### ポイント

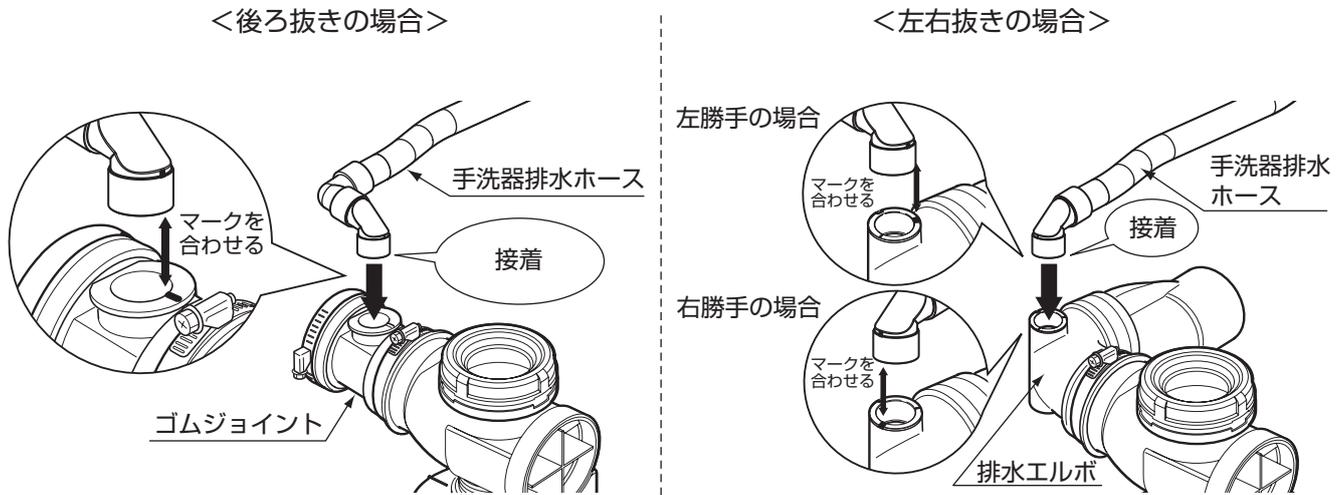
手洗器排水管をカットする際には、押切タイプの  
カッターは使用しないでください。  
(手洗器排水管の断面が変形する場合があります。)



給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデル

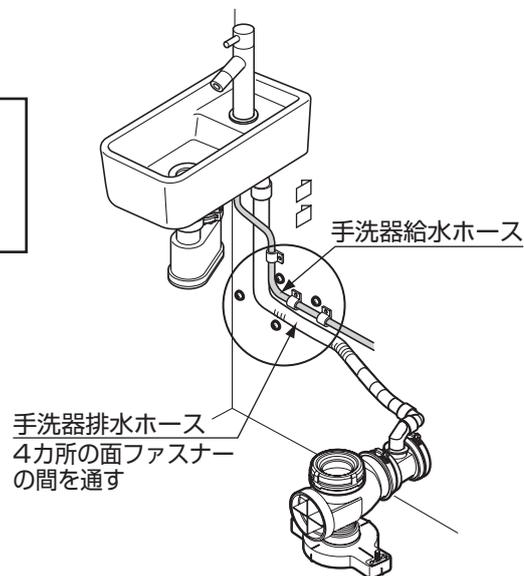
## 3. ゴムジョイントと、手洗器排水ホースを接着する。



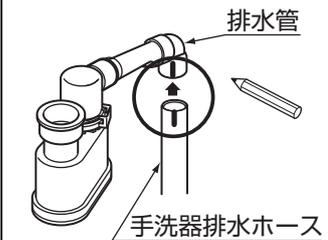
## 4. 手洗器排水ホースを後ろ壁に沿って仮組する。

## ポイント

手洗器排水ホースは逆勾配にならないことを確認する。



手洗器排水ホースを排水管にさしこみ、排水管と手洗器排水ホースに印をつける。



# 3

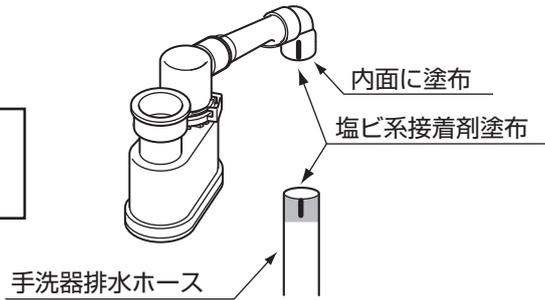
## 給水管・排水管の取り付け

給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデル

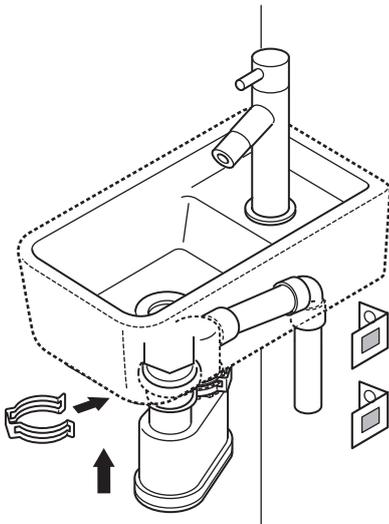
### 5. 手洗器排水ホースと排水管を接続する。

**ポイント**  
印を合わせる



- ① 排水トラップを排水金具からはずす。
- ② 手洗器排水ホースと排水管に塩ビ系接着剤を塗布する。
- ③ 4. (50 ページ) でつけた印を合わせ、手洗器排水ホースを接着する。
- ④ 排水トラップを排水金具にはめ、クイックファスナーで固定する。

**ポイント**  
排水トラップは  
まっすぐ差し込む



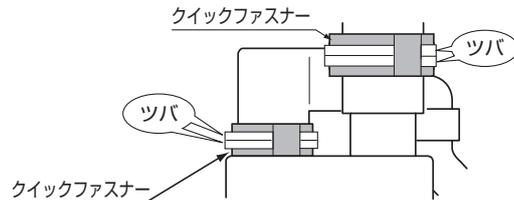
**注意**

クイックファスナーが正しく固定されていることを確認する  
※クイックファスナーがスムーズに1回転することを確認する  
※クイックファスナーの全周にツバがかかっていることを確認する



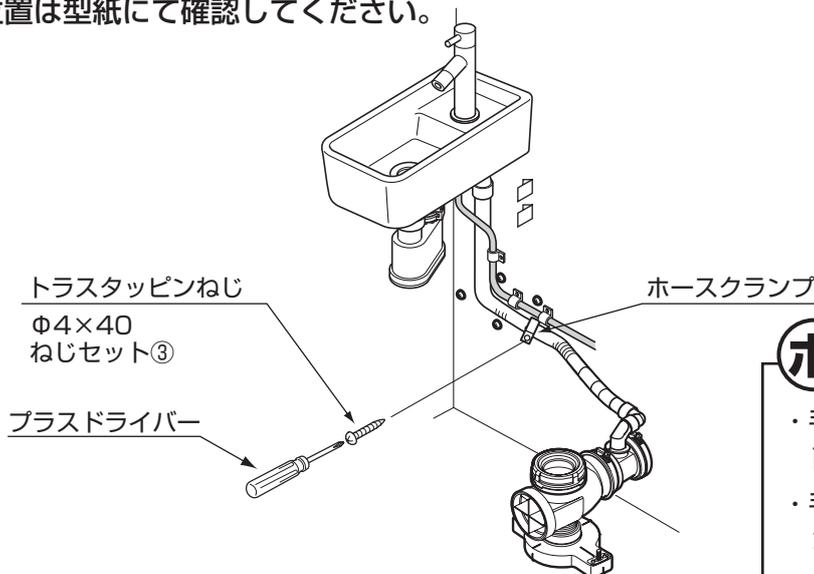
必ず守る

水漏れして家財などがぬれる財産損害発生の原因となります。



### 6. 手洗器排水ホースをホースバンドで固定する。

※取付位置は型紙にて確認してください。

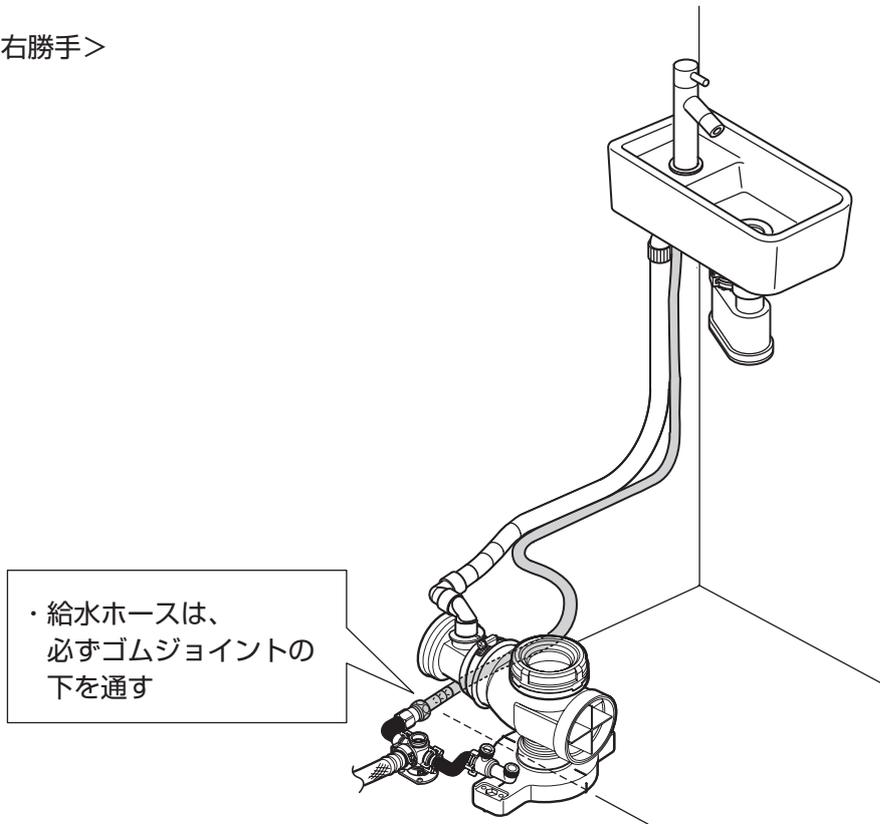


**ポイント**

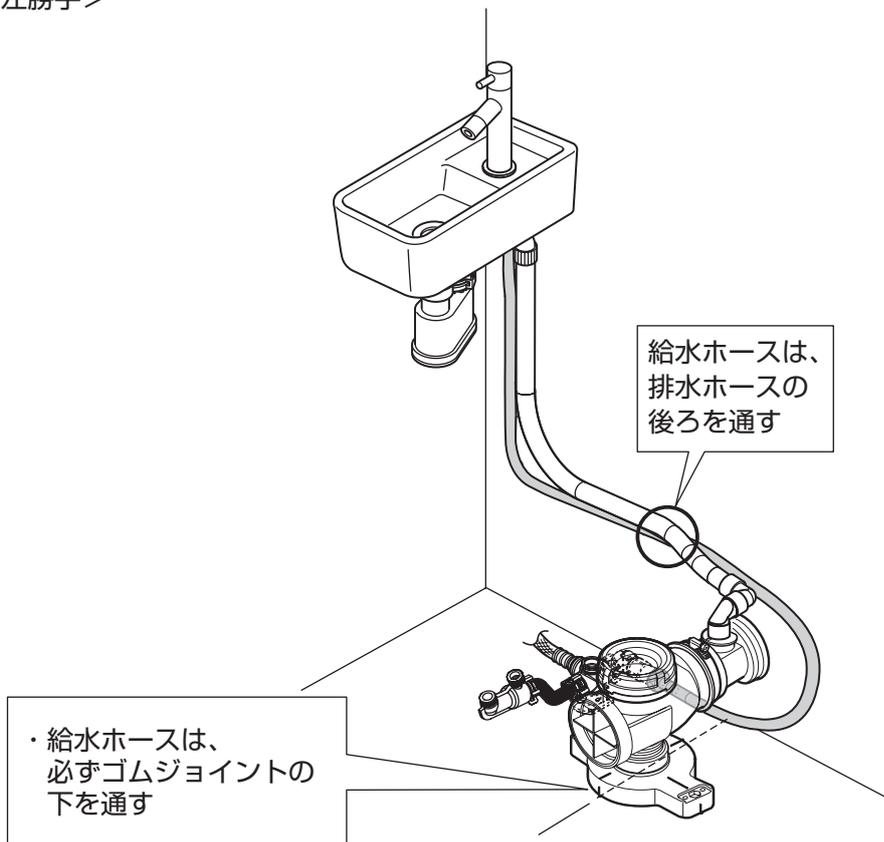
- ・手洗器排水ホースは、4カ所の面ファスナーの間を通す。
- ・手洗器排水ホースは、逆勾配にならないことを確認する。

## ③ 給水ホース（手洗器用）の接続

&lt;右勝手&gt;



&lt;左勝手&gt;



### 3

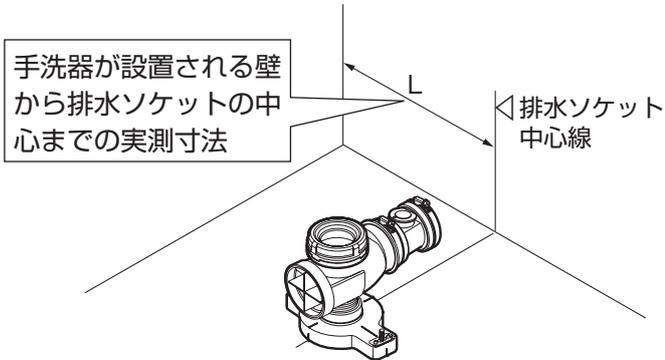
## 給水管・排水管の取り付け

給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデル

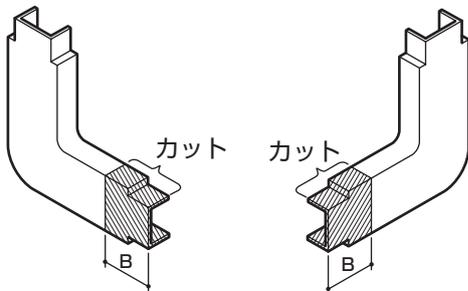
### 4 配管カバーの取り付け

#### 1. 配管カバーをカットする。



手洗器が左勝手の場合

手洗器が右勝手の場合



L=470mm未満の場合

カット寸法 [B] = 500mm - L

(例) L=380mmの場合:

B = 500mm - 380mm = 120mm

L=470mm以上の場合

カット寸法 [B] = 30mm

(例) L=480mmの場合:

B = 30mm

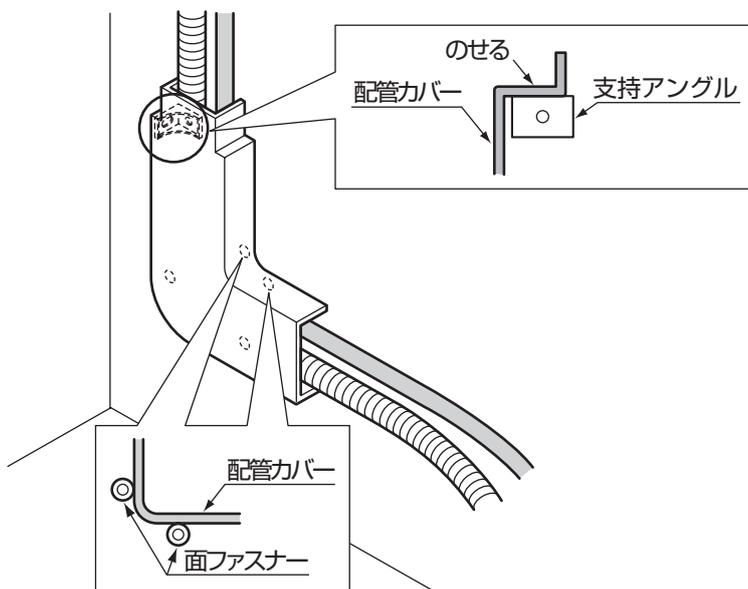
#### ⚠ 注意



必ず守る

カットした面は滑らかに仕上げる  
滑らかに仕上げないとお客様の手が触れ、ケガをするおそれがあります。

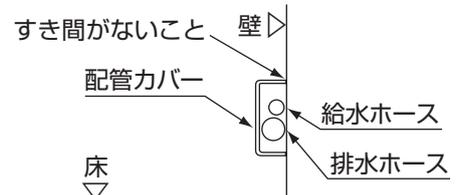
#### 2. 配管カバーを取り付ける。

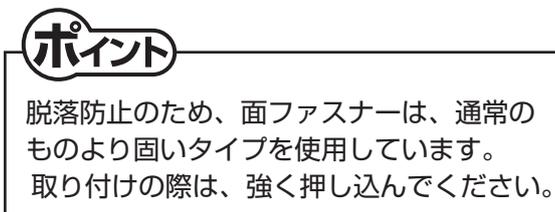
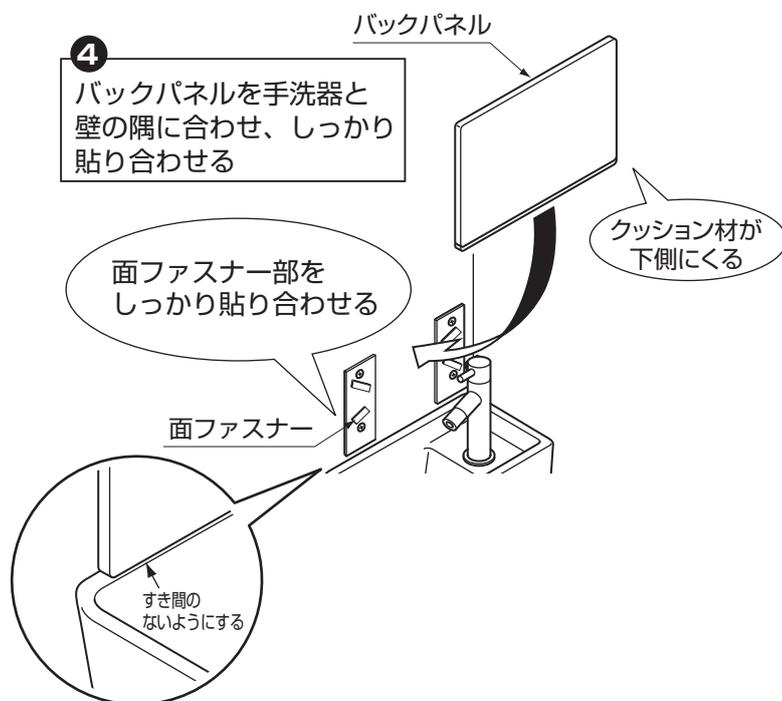
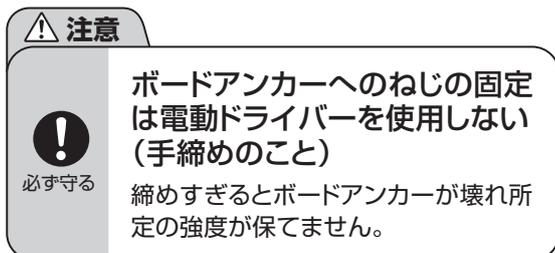
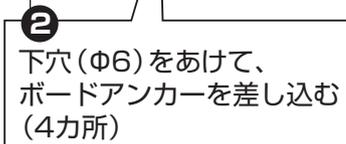
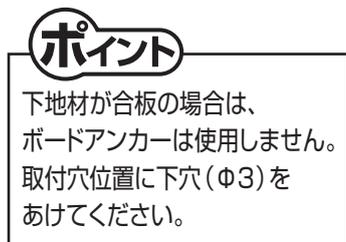
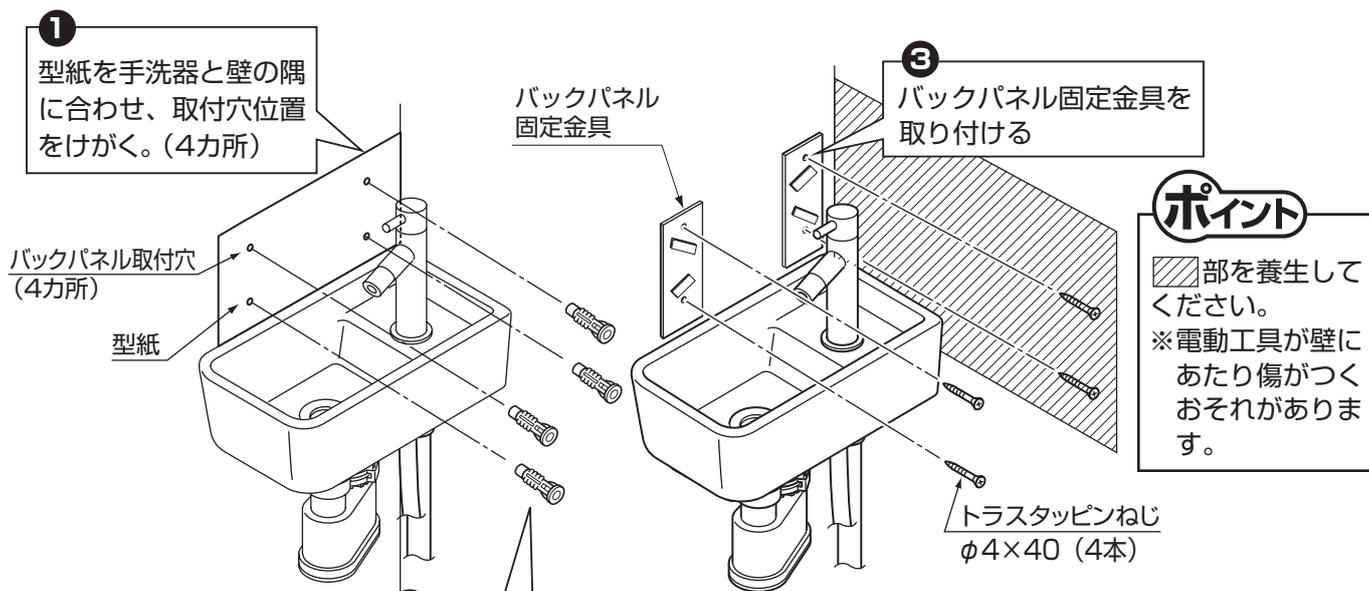


- ① 配管カバーを配管カバー用支持アングルにのせ壁に固定した面ファスナーが配管カバーに隠れるように取り付ける。

#### ポイント

- ・面ファスナー部分 (4カ所) を強く手でたたきこんでください。  
(脱落防止のため面ファスナーは通常のものより固いタイプを使用しています。)
- ・壁と配管カバーにすき間がないこと



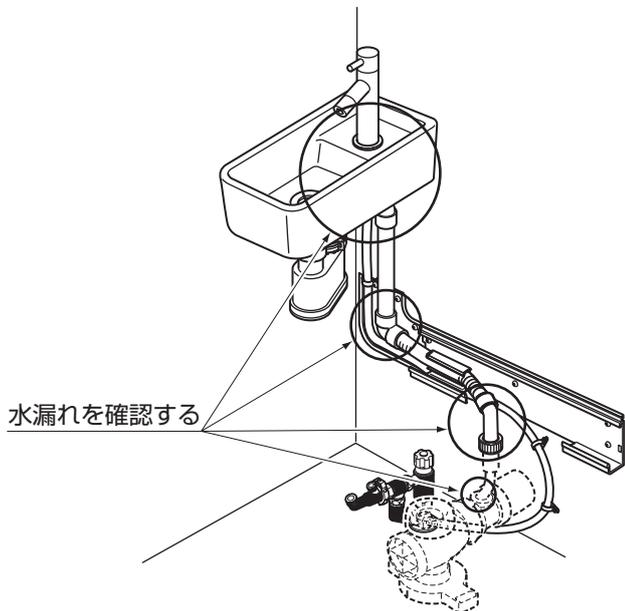


# 5

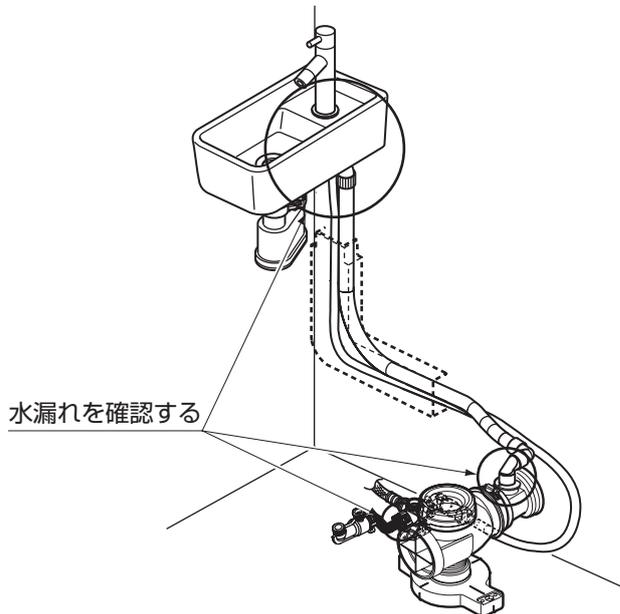
## 手洗器排水ホースの水漏れ確認

バケツ等を用いて手洗器に水を流し込み、排水管接続部の水漏れ確認を行ってください。

給水隠ぺいタイプ・便器品番：CS985BDP  
後ろ抜き（排水心高さ120mm）



給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX  
後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデル



## 共通

5

便器側の取付穴 (2カ所) を座金、ナットで固定する。

ナット

座金

※座金の向きを間違えないこと。

注意

最後の締め増しは、**手締め**により行い便器を割らないように注意してください。

注意

ナットを確実に締めてください。ナットを締め過ぎて便器を割らないように注意してください。

※壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

ナット

座金

便器本体

センターラベル

固定片

注意書  
(クラフト紙)

6

便器取り付け完了後、分岐金具を元の位置におこす。

1

分岐金具を外向きに倒しながら回す。  
(便器取り付け時に干渉しないように)

注意

便器を取り付ける際は、分岐金具を外向きにする外向きにしないと、便器本体取り付け時に、便器本体または分岐金具が破損するおそれがあります。

分岐金具の回しかた

必ず守る

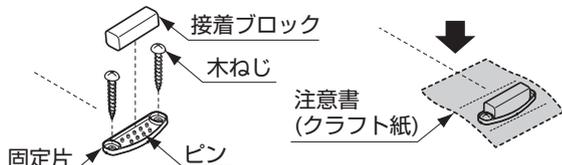
便器取り付け時、給水ホース、分岐金具を踏まないように注意する



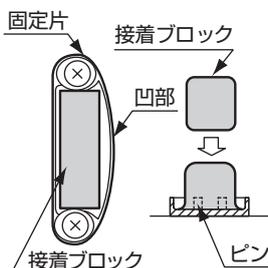
(上から見た図)  
取り回し例

3

- ① 下図のように接着ブロックを固定片の凹部のピンに差し込み、その後指で軽く押す。
- ② 接着ブロックの上に付属の注意書 (クラフト紙) をかぶせる。  
※印字のないツルツルの面を下向きにしてください。



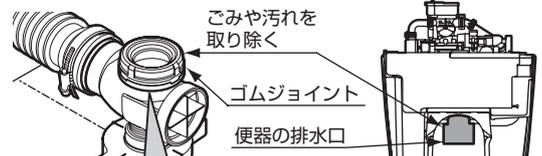
## &lt;接着ブロックについて&gt;



- ※施工直後のやり直しの際は、接着ブロックの形を左図のように整えてください。
- ※接着ブロックの方向性は特にありません。
- ※気温が下がると接着ブロックが固くなることがあります。このときは、20～30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用してください。
- ※詳細は、接着ブロックに付属の注意書を参照してください。

2

- ① 便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除く。
- ② 便器排水口を排水ソケットに差し込む。  
※便器の持ちかたは下図を参考にしてください。



ゴムジョイントがきちんと取り付けられていることを確認してください。(便器の後ろ図)

## &lt;便器の持ちかた&gt;

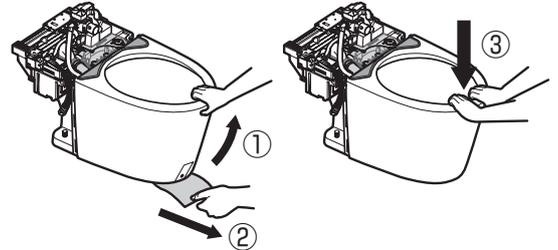
注意

機能部を持つと破損するおそれがあります。



4

- ① センターラベルを基準に便器の位置を微調整する。
- ② 便器先端を少し持ち上げ、固定片の上のクラフト紙を引き抜く。
- ③ 接着ブロックがつぶれるまで、便器をしっかりと押さえ、センターラベルをはがす。



注意

• 便器が床につくまでしっかり便器を押さえてください。

# 7

# ウォシュレットの取り付け

## 共通

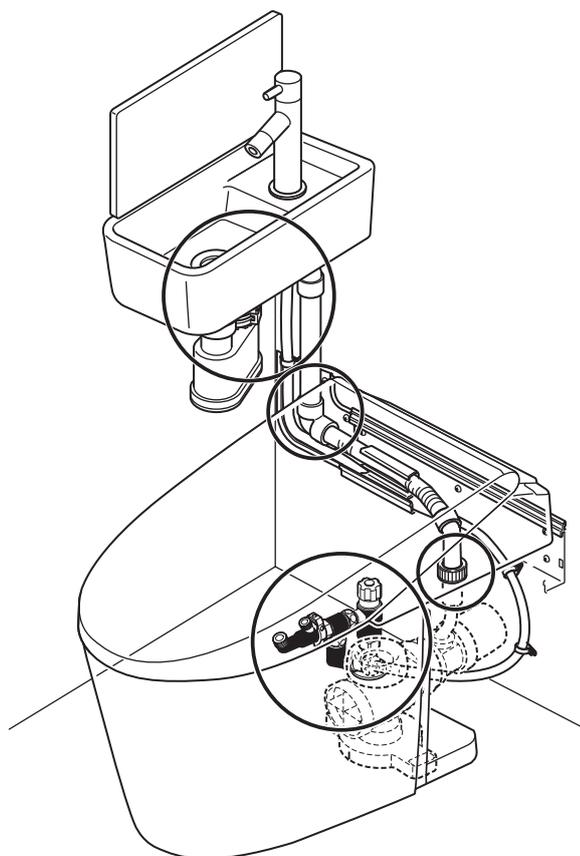
 ウォシュレットの取り付けは製品に同梱の説明書を参照してください。

# 8

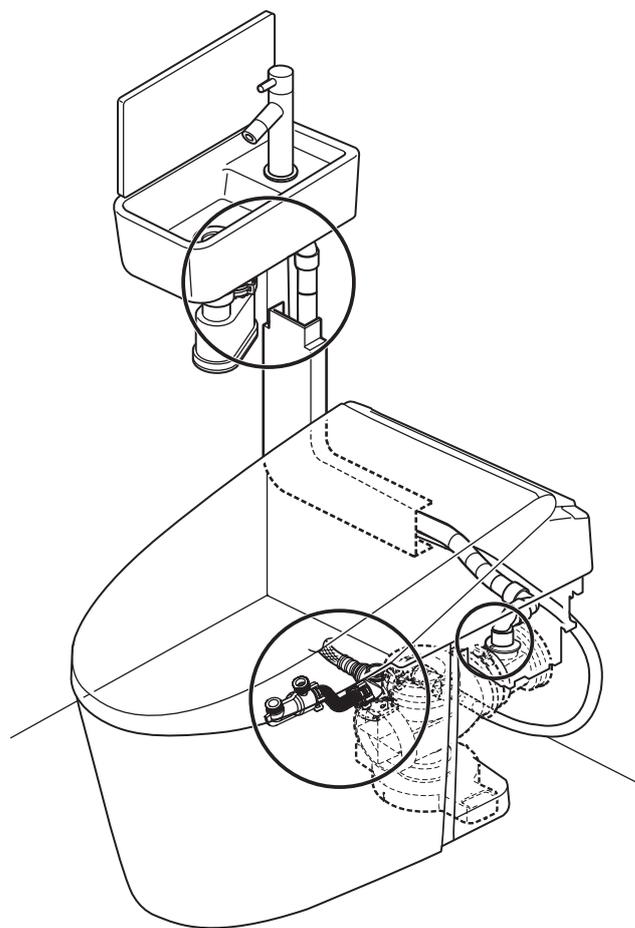
# 確認・仕上げ

## 1 通水・水漏れの確認

給水隠ぺいタイプ・便器品番：CS985BDP  
後ろ抜き（排水心高さ120mm）



給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX  
後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデル

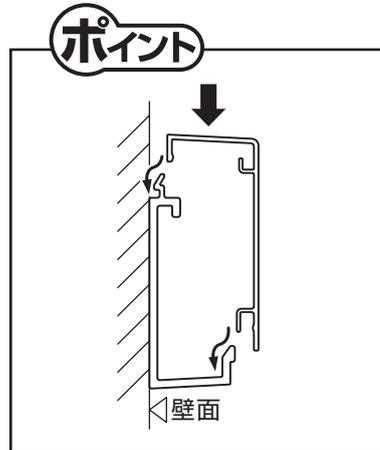
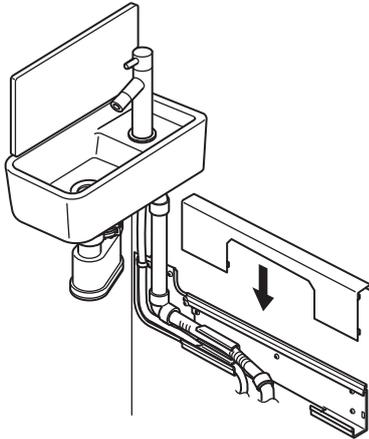


給水隠ぺいタイプ・便器品番：CS985BDP

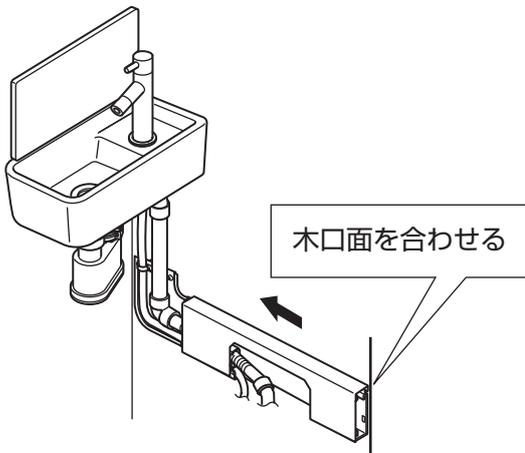
後ろ抜き（排水心高さ120mm）

## ② 配管カバーの取り付け

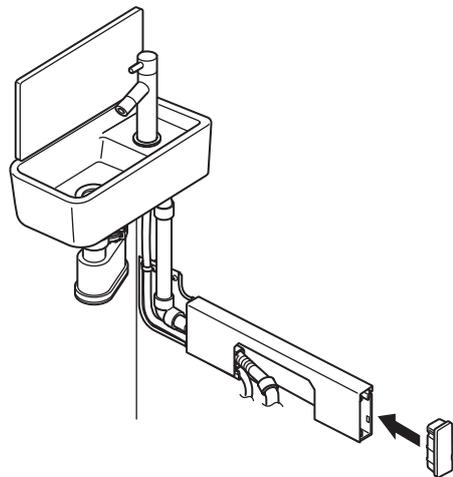
① 配管カバーを上方から配管ブラケットにはめ込む。



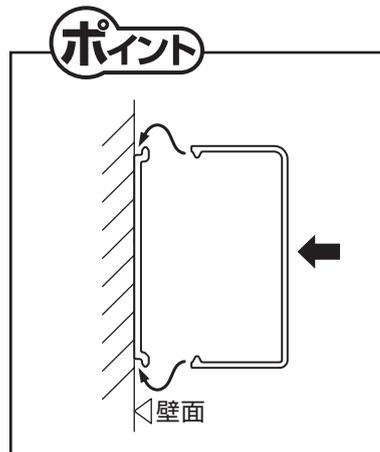
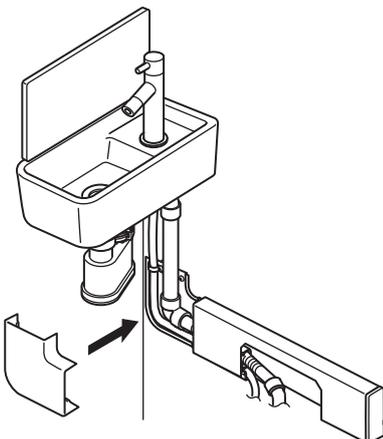
② 配管カバーをスライドさせ、配管ブラケットと配管カバーの木口面を合わせる。



③ エンドキャップをはめ込む。



④ L型配管カバーをはめ込む。



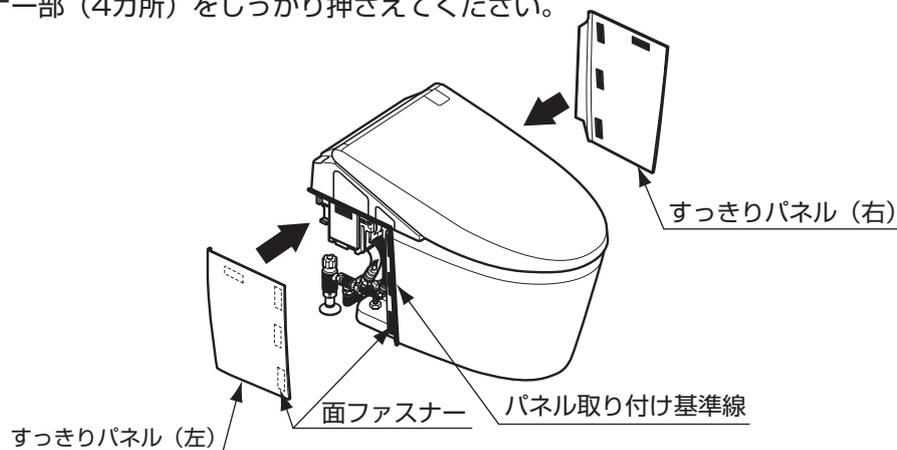
## ③ すっきりパネルの取り付け

給水隠ぺいタイプ・便器品番：CS985BDP

## 後ろ抜き（排水心高さ120mm）

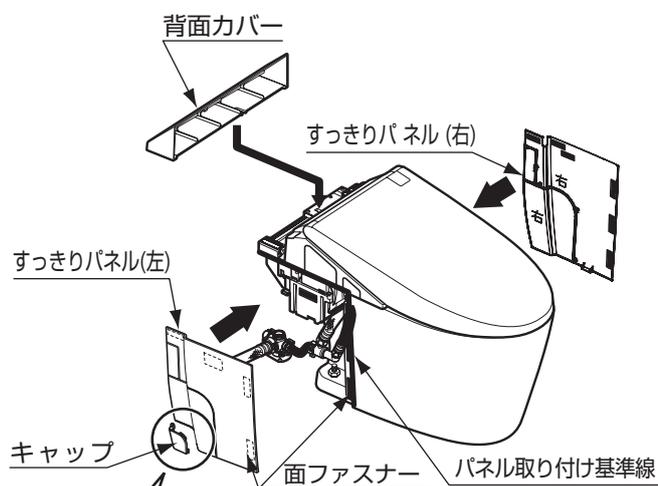
ウォシュレット本体の試運転確認後、すっきりパネルをパネル取り付け基準線（赤い線）に合わせて取り付けます。

※面ファスナー部（4カ所）をしっかりと押さえてください。



給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

## 後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデル

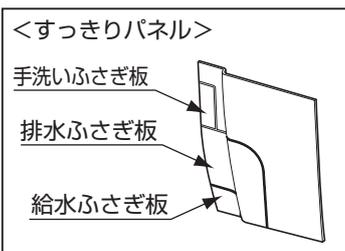
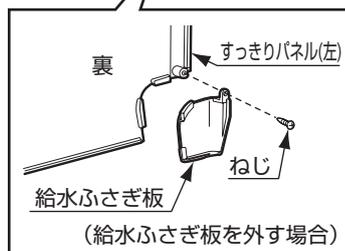


① すっきりパネル（左または右）から、必要に応じて＜排水ふさぎ板・手洗いふさぎ板・給水ふさぎ板＞ねじを外し、取り外す。

② ウォシュレット機能部の試運転確認後、すっきりパネルをパネル取り付け基準線（赤い線）に合わせて取り付ける。

※このとき、面ファスナー部（5カ所）をしっかりと押さえてすっきりパネルが外れないことを確認してください。

③ 背面カバーを取り付ける。（面ファスナー2カ所）



給水露出タイプ・便器品番：CS985BDX

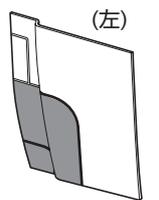
後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデル

&lt;ふさぎ板について&gt;

の部分をとり外してから取り付けてください。

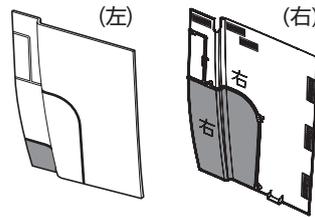
排水管

【左抜きの場合】



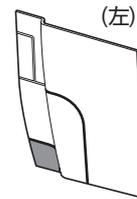
(ねじ3カ所)

【右抜きの場合】



(ねじ1カ所) (ねじ3カ所)

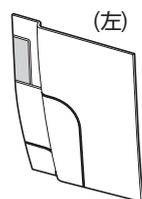
【後ろ抜きの場合】



(ねじ1カ所)

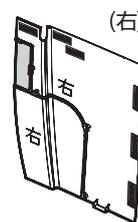
手洗器

【左勝手の場合】



(ねじ1カ所)

【右勝手の場合】

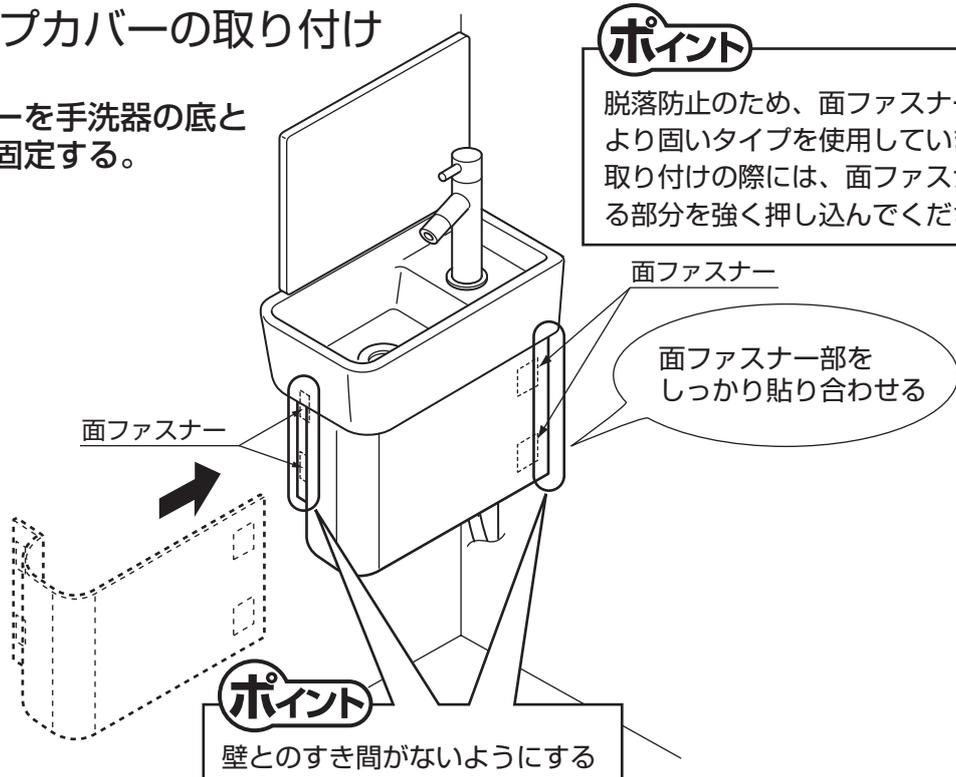


(ねじ1カ所)

## 共通

## ④ トラップカバーの取り付け

トラップカバーを手洗器の底と壁に押し当て固定する。



## 共通

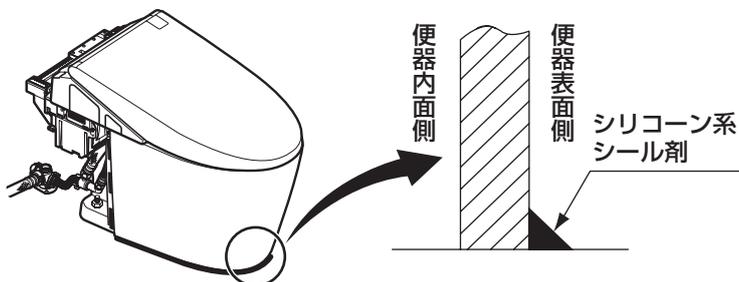
## 【大便器】

便器床接地部周囲に防カビ性の透明シリコン系シーラントを塗布する

**水や小水の浸入を防止することをおすすめします。**

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水等が便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。

フローリング(木質系)を使用される場合は、便器柵下部周囲に防カビ性の透明シリコン系シーラントを塗布することをおすすめします。



## 【手洗器】

手洗器とバックパネルの間にシリコン系シーラント(別途手配)を塗布します。

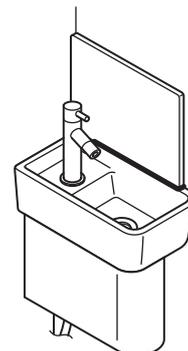
## ⚠ 注意



必ず守る

**必ずシリコン系シーラントを塗布すること**

水が浸入し、カビの発生の原因となります。





**工事店様へ**

このたびはネオレストハイブリッドシリーズ手洗器付（ワンデーリモデル）を施工いただきありがとうございました。

UGX1055X 